

1 コクガン

(カモ目)

兵庫県ランク: 注

Branta bernicla

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

◎天然記念物

環境省ランク: VU

種の概要

ロシア中北部、シベリア北東部、アラスカ、カナダ北部、グリーンランド、スピッツベルゲン島など北極圏で繁殖する。繁殖後はヨーロッパ中部や中国、朝鮮半島、日本、北アメリカの海岸などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に北海道から本州北部で越冬する。本州中・南西部、四国、九州にも不定期に渡来し越冬する。海上や海岸の荒磯、海岸の浅瀬、河口、干潟に生息し、アマモやアオサなどの海藻類を好んで採食する。



写真提供：鳥田陽子 (性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州北部、佐渡、舩倉島、本州中・南西部、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美大島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、★明石市、★西宮市、★洲本市、芦屋市、豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★淡路市、たつの市、★新温泉町



写真提供：鳥田陽子 (性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に12-翌4月に記録がある。古くは1910年代に芦屋沖で数羽群、1931-1932年に明石市で6-7羽群、1935年頃姫路市飾磨沖で数羽群など。近年では1972年豊岡市3羽、1989年西宮市2羽、1996年赤穂市1羽、2000年と2003年明石市1羽、2005年加古川市、2010年たつの市1羽の記録がある。最近では2014年に淡路市と洲本市、2019年に西宮市と新温泉町などの記録がある。

保護上の留意点

自然豊かな干潟や藻場が広がる海岸の浅海域の保全・再生が重要。

2 サカツラガン

(カモ目)

Anser cygnoid

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク: DD

種の概要

中央アジアからモンゴル、シベリア東南部、サハリン北部などで繁殖する。繁殖後は中国、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。古くは日本各地に渡来し越冬するものが稀ではなかったらしいが、1950年前後に激減し、その後は全国的に比較的稀に観察される程度となっている。広い湖沼や干潟、湿原、沼沢地、水田などに生息する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、奥尻島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、屋久島、奄美大島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

伊丹市、小野市、加西市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息 環 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

Aランクから要調査ランクに変更。
県内では主に11-翌4月に記録がある。古くは1952年11月に伊丹市昆陽池でヒシクイ52羽の群れに混じる4羽、1957年1月に小野市鴨池でヒシクイ198羽の群れに混じる1羽、1989年には1月から4月に加西市逆池で1羽が観察されている。最近では2018年に稲美町で1羽が観察されている。いずれも極めて稀な記録で、現在は迷行的渡来状況にあると考えられることから要調査ランクに変更した。

保護上の留意点

広い干潟や湖沼、湿地、農耕地などの自然豊かな湿地環境の保全・再生が重要。

3 ヒシクイ

(カモ目)

兵庫県ランク: B

Anser fabalis

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

◎天然記念物

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパ北部からシベリア、カムチャツカなどのツンドラ地帯とタイガ地帯で繁殖する。繁殖後は温帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に東北地方や日本海側の湖沼で越冬する。四国、九州、沖縄にも不定期に渡来し越冬する。見通しのよい湖沼や干潟、河川、沼沢地、水田などに生息し、収穫後の稲株から生えてくる再生稈や泥中に生えるマコモの根茎部、ヒシの実を好んで採食する。

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：北野光良

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、★小野市、★加西市、加東市、稲美町、★神河町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ら休 息 環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では古くは10月下旬から翌4月に生息していたが、最近では10月下旬から翌2月となっている。かつては小野市鴨池で100-200羽、伊丹市昆陽池で50-60羽が毎年越冬していた。1950年には西宮沖で300羽、1960年には神戸市街地上空を200羽の群れが通過するのが観察されている。1960年代に急減し、一時全く姿が見られなくなっていたが、最近、但馬地域と播磨地域の河川敷やため池に、ほぼ定期的に数十羽が渡来し越冬するようになっている。

保護上の留意点

広い採食場所とねぐらの保全が重要。そのために稲刈り後の水田の一部を冬季そのまま残し、ねぐらとなる池や河川には人が入れないように立ち入りを制限することが必要。

4 マガン

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Anser albifrons

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

◎天然記念物

環境省ランク: NT

種の概要

シベリアからアラスカ、カナダ中北部、グリーンランド西部などの北極ツンドラで繁殖する。繁殖後はヨーロッパ中部からカスピ海南部、中国、朝鮮半島、日本、北アメリカ南部などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に本州、四国、九州で越冬する。宮城県伊豆沼や石川県片野鴨池などが越冬地としてよく知られている。湿原、湖沼、河川、水田、干潟などに生息し、植物の葉や根茎、田の落ちモミなどを採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舢倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、小野市、★加西市、養父市、加東市、★たつの市、★稲美町、福崎町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-3月に生息する。かつては小野市男池や伊丹市昆陽池で50-60羽の群れが毎年越冬していたが、1960年代に急減し、その後の記録は極めて少なかった。しかし、最近では数十羽の群れが、ほぼ毎年、北部の但馬地域の円山川流域を中心に渡来し、県南部にも少数が時々渡来するようになっている。

保護上の留意点

広い採食場所とねぐらの保全が重要。そのために稲刈り後の水田の一部を冬季そのまま残し、ねぐらとなる池や河川には人が入れないように立ち入りを制限することが必要。

5 コハクチョウ

(カモ目)

Cygnus columbianus

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア、カムチャツカ、アラスカ、カナダ北部などのツンドラ地帯で繁殖する。繁殖後はヨーロッパ南部や中央アジア、中国中部、日本、北アメリカ南部に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に本州、四国、九州で越冬する。内湾、湖沼、河川、水田などに生息し、田の落ちモミや水生植物の根茎などを採食する。大きな群れが定期的に飛来するところでは、人為的に穀類やパンくずなどの給餌を行っているところも少なくない。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

左：幼鳥、右：成鳥

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★小野市、★加西市、養父市、たつの市、★稲美町、福崎町、★神河町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐら 特殊 環境・ 休息	局地的 繁殖	希少
						○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に生息する。1980年代から小野市、加西市のため池に2桁台の個体数で毎年渡来し、1990年代からは但馬地域の円山川流域にも少数が毎年渡来するようになっている。越冬地では給餌が行われているところが少なくない。最近の高病原性鳥インフルエンザの流行に伴う給餌活動の中止や開発、冬期の溜池の減水等の影響を受け、特に県中部の越冬個体群は急減した。

保護上の留意点

水草が生育する湖沼や河川の保全、人が四方を取り囲めない集団ねぐらの確保が重要。現在の水辺環境下では、人為的な保護がないと生息し難いところはあるが、過度な給餌は自然分布の障害となる。

6 オオハクチョウ

(カモ目)

Cygnus cygnus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、カムチャツカ、サハリン、モンゴルなどで繁殖する。繁殖後はイギリス諸島からヨーロッパ、黒海、カスピ海、中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に北海道、本州北部で越冬する。本州中部以南にも不定期に渡来し越冬する。内湾、湖沼、河川、水田などに生息し、水生植物の根茎や田の落ちモミなどを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：三谷康則

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、★明石市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、小野市、★加西市、養父市、南あわじ市、★稲美町、★神河町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○						○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌3月に記録がある。まれな冬鳥であるが、主に但馬地域と播磨地域に渡来し、近年は少数ながらほぼ毎年記録されている。その多くは、コハクチョウの群れに混じって行動していることが多い。

保護上の留意点

水草が生育する湖沼や河川の保全、人が四方を取り囲めない集団ねぐらの確保が重要。現在の水辺環境下では、人為的な保護がないと生息し難いところはあるが、過度な給餌は自然分布の障害となる。

7 ツクシガモ

(カモ目)

Tadorna tadorna

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパから中央アジア、モンゴル、中国北東部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ北部、ヨーロッパ南西部、小アジア、南アジア、中国南・東部、日本(主に本州以南)などに渡り、越冬する。干潟や内湾、海上、湖沼などに生息する。貝類や甲殻類、水生昆虫、藻類などを採食する。有明海、周防灘、大阪湾などが主要な越冬地として知られる。

国内分布

北海道、本州北・中部、佐渡、本州南西部、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、奄美諸島、琉球諸島、北大東島



写真提供: 友田達也

(性別: オス(左)、メス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★淡路市、たつの市、★稲美町、★加東市

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性の 低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね ぐら 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。

県内では主に12-翌5月に生息する。1960年12月に稲美町で2羽観察されたのが県内で最初の記録で、それ以前の記録はない。1987年以降から県南部を中心に時々記録されるようになり、1994年からはほぼ毎年少数の越冬が記録されている。最近のガンカモ調査では最多で33羽がカウントされている。やや増加傾向にあるが、もともと個体数が少なく、大阪湾の越冬地も不安定な状況にあり、今後の動向に注目する必要があることから要注目ランクとした。

保護上の留意点

貝類やカニ類、ゴカイ類などが多く生息する広い泥干潟や河口、湖沼などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

8 オシドリ

(カモ目)

Aix galericulata

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: DD

種の概要

シベリア南東部から中国東部、朝鮮半島、日本の本州北部以北などで繁殖し、繁殖後は中国南部、日本の本州中部以南、台湾などに渡る。本州中部以南でも山地では繁殖するところがある。繁殖期は山地の溪流で生活し、森林の樹洞で営巣する。冬は岸を林が覆っている湖や池、河川などに移動し、群れで生活する。ドングリを好んで食べる他、穀類や水生植物、小動物などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★宝塚市、★三木市、★川西市、★小野市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、たつの市、★猪名川町、★稲美町、★神河町、太子町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
					○	○		○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に生息するが、宍粟市や丹波市、豊岡市、香美町の山間の溪流や池では、巣や雛は確認されていないものの、夏の繁殖期にも比較的観察記録がある。繁殖している可能性は高いが、極めて局地的で個体数は少ない。冬期は大陸からの越冬個体群が加わるため、個体数は増加する。

保護上の留意点

繁殖地となる山間地水辺の洞がある古木とシイ、カシ類などドングリとなる広葉樹の保全、および人為圧の除去が重要。越冬地については山間地のダム湖や湖沼の堤に、人が近づけない広葉樹の群落の確保が重要。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス(左)、メス(右))



写真提供：鳥田陽子

(性別：メス(左)、オス(中・右))

9 トモエガモ

(カモ目)

Sibirionetta formosa

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: VU

種の概要

シベリア東部で繁殖する。繁殖後は中国東・南部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に本州、四国、九州で越冬する。古くから日本には多数渡来していた。1990年代に全国的に急減したが、2020年代に入り石川県や島根県などで大群の越冬が記録されるようになってきている。湖沼や河川、河口に生息し、草の実や葉、水草、水生の小動物などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、★赤穂市、★宝塚市、三木市、川西市、小野市、三田市、加西市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、宍粟市、加東市、たつの市、★稲美町、福崎町、★神戸町、★香美町



写真提供：梅津節雄

(性別：オス、メス)

※大きい鳥（2羽）はマガモ

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら ら休 息 環境 ・	局 地 的 繁 殖	希 少
	○	○							

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-翌4月に生息するが、年により渡来する個体数に大きな変動がある。多い年には小野市鴨池や加古川市平荘湖で100-200羽の群れが見られたが、2003年以後は渡来数が激減した。近年はほぼ2桁台で、渡来地によっては単独の個体が稀に記録される程度に減っているところもあったが、最近はやや回復傾向にある。

保護上の留意点

ため池や河川敷の抽水植物群落など、姿を隠せる水辺環境の保全が重要。

10 シマアジ

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Spatula querquedula

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ西部からロシア南部、中央アジア、中国北部、カムチャツカ、サハリンなどで繁殖する。繁殖後はアフリカ、インド、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春秋の渡りの時期に渡来する。越冬例もある。湖沼、河川、沼沢地、水田、ハス田など、水生植物のよく繁った水辺に生息し、草の実や水草、水生昆虫類、エビ類などを採食する。



写真提供：友田達也

(性別：メス(左)、オス(右))

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、北大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、三木市、高砂市、★南あわじ市、加東市、★稲美町、太子町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
	○								

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と9-10月に生息する。個体数は少ない。秋はコガモの大群に混じっていることが多い。近年は多くは播磨地域のため池、但馬地域の円山川流域で観察されている。越冬期の出現は稀である。

保護上の留意点

水面近くに浮遊する植物の種子や水生昆虫類を餌としているので、播磨や阪神地域のため池や但馬地域の河川の自然環境の保全が重要。

11 アメリカヒドリ

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Mareca americana

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

アラスカ、カナダ、アメリカ合衆国北部などで繁殖する。繁殖後は北アメリカ中部から中部アメリカ、西インド諸島などで越冬する。日本には、秋にヒドリガモの群れに混じって少数が渡来し、主に本州から九州で越冬する。湖沼や河川、海岸に生息する。穀類や草の葉茎・実、水草類、藻類、昆虫類、小動物などを採食する。近年、ヒドリガモとの交雑個体と考えられる個体が観察されるようになっている。

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、小笠原群島、琉球諸島



写真提供：森田俊司 (性別：オス(手前))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、★高砂市、★川西市、三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○									

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクからCランクに変更。
県内では主に10-翌4月に少数が生息する。ヒドリガモの集団に混じっていることが多く、その分布はヒドリガモと同じだが、淡路地域での生息確認情報はない。近年、ヒドリガモとの交雑個体と見られる個体が増え、純粋のアメリカヒドリが減っていると考えられることから、要注目ランクからCランクに変更した。

保護上の留意点

ヒドリガモやオナガガモの群れが生息する水辺環境の保全が重要。

12 アカハジロ

(カモ目)

Aythya baeri

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク: DD

種の概要

シベリア南東部から中国北部などで繁殖し、繁殖後は中国南部、南アジア北東部、インドシナ半島北部などに渡り、越冬する。朝鮮半島、日本、北アメリカなどでも記録される。日本には少数が秋に渡来し、主に本州以南で越冬する。湖沼や河川に生息する。潜水して水中の動植物を採食する。



写真提供: 森田俊司

(性別: オス)

国内分布

北海道、本州、佐渡、四国、九州、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、明石市、西宮市、伊丹市、★加古川市、加東市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら ら休 息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○							○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。

県内では主に10-翌4月に記録がある。1979年2-4月に伊丹市昆陽池公園で観察されたのが最初で、その後、同年10月、1992年、1995年、1996年、1999年、2022年などに記録があるが、いずれも県南部で個体数は1羽に過ぎない。県北部からの記録はない。最近の観察情報があまりなく、今後の動向に注目する必要があることから要注目ランクとした。

保護上の留意点

水生植物が豊富なため池の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

13 シノリガモ

(カモ目)

兵庫県ランク: B

Histrionicus histrionicus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からサハリン、千島列島、日本北部、アリューシャン列島、アラスカ、カナダ西部、北アメリカ西海岸などで繁殖する。繁殖後はオホーツク海沿岸、中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では北海道と本州北部の山地溪流で少数が繁殖する他、主に北海道、本州、四国、九州の海岸で越冬する。岩礁の多い荒磯に生息し、甲殻類や貝類、ウニなどを好んで採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、慶良間諸島



写真提供：北野光良

(性別：メス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★明石市、★西宮市、★豊岡市、加古川市、高砂市、朝来市、淡路市、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に12-翌4月に生息する。古い記録は1957年1月淡路市の1例に過ぎない。岩礁の多い荒磯で、大きな群れを作らず、単独か数羽で行動することが多いため確認が難しい。1979年以降からわずかに記録が見られるようになり、2003年以後は渡来情報が増えた。最近では、瀬戸内側の沿岸部と但馬地域の沿岸部に、2桁台の少数で渡来している。

保護上の留意点

採餌場所として浅い岩場及び生息海域の海洋環境の保全が重要。

14 ビロードキンクロ

(カモ目)

Melanitta stejnegeri

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア中・東部、中央アジア北東部、モンゴル北西部、カムチャツカ、千島列島北部、サハリンなどで繁殖する。繁殖後は、日本、朝鮮半島、中国などの沿岸に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州などで越冬する。越夏例も稀にある。海上、海岸、河口などに群れで生息し、潜水して貝類や甲殻類などを採食する。



写真提供：木下智貴

(性別：オス)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、粟島、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、五島列島、伊豆諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、加古川市、赤穂市、南あわじ市、淡路市、たつの市、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 環息 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○				○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌3月に生息する。1950年代までは瀬戸内の海上に100-500羽の大群が越冬していた。1953年1月には明石市二見沖の海上で12,565羽が記録されたことがある。1970年台半ばに急減し、近年は数羽から数十羽の群れが時々記録される程度に減っている。タンカーや製油所などの事故に起因する重油や化学物質の流出による被害で、海上の群れが大きな打撃を受ける例がある。

保護上の留意点

浅い内湾で潜水して主に貝類や甲殻類を捕食するので、甲子園浜や新舞子の底生生物の保全が重要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

15 クロガモ

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Melanitta americana

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からカムチャツカ、千島列島、アラスカ西部、カナダ中・東部などで繁殖する。繁殖後は中国東部、朝鮮半島、日本、北アメリカ西岸などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に北海道、本州、四国などで越冬する。海上や内湾、海岸に生息し、潜水して貝類や甲殻類などを採食する。



写真提供：北野光良

(性別：メス)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、伊豆諸島、小笠原群島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、洲本市、★豊岡市、加古川市、★赤穂市、高砂市、南あわじ市、淡路市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○					○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-翌3月に生息する。1960年代までは瀬戸内の海上に数羽から30羽前後の群れがよく見られていた。当時はビロードキンクロの大群の周囲に小群が点在していることが多かった。ビロードキンクロの減少と同じ頃に減少した。最近では、武庫川河口、神戸市ポートアイランド沖、甲子園浜などで観察されている。重油等の流出による被害で、群れが大きな打撃を受ける例がある。

保護上の留意点

浅い内湾で潜水して主に貝類や甲殻類を捕食するので、甲子園浜や新舞子の底生生物の保全が重要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

16 ホオジロガモ

(カモ目)

Bucephala clangula

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、モンゴル北部、中国北東部、カムチャツカ、サハリン、アラスカ、カナダなどで繁殖し、繁殖後はヨーロッパからアジア、北アメリカの温帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州などで越冬する。海岸や河川、湖沼などに生息する。巧みに潜水して貝類や甲殻類などを採食する。小魚や水草なども食べる。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛島、舳倉島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、三木市、★高砂市、★三田市、加西市、★養父市、★南あわじ市、★淡路市、★たつの市、★稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら ら休 息 環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○									

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。

県内では主に11-翌3月に生息する。古くは瀬戸内海側に多く、1989年1月には西宮市甲子園浜で115羽の群れが観察されるなど、比較的大きな群れが越冬していた。近年は三田市のため池や但馬地域でも記録されるようになってきている。分布地域は増えているが、大きな群れが記録されることはなくなった。最近のガンカモ調査で記録される県全体の個体数は49羽が最大である。今後の動向に注目する必要があることから、要注目ランクとした。

保護上の留意点

現在生息している海岸や河川、ため池などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。



写真提供：鳥田陽子

(性別：オス)



写真提供：鳥田陽子

(性別：メス)

17 ヤマドリ

(キジ目)

Syrmaticus soemmerringii

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

日本固有種。本州、四国、九州にそれぞれ周年生息し繁殖する。キジとともに狩猟鳥の代表とされるが、近年減少傾向にある。山地の森林に生息する。繁殖期の雄は翼を震わせて「ドドド」という羽音を出す。森林の下生えのある沢筋を好み、草木の実や昆虫類、クモ類、ナメクジなどを採食する。秋から冬には群れとなることもある。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)

国内分布

北海道、本州

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、洲本市、相生市、★豊岡市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、★三木市、★川西市、小野市、★三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、★丹波市、南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、たつの市、★猪名川町、★多可町、市川町、福崎町、★神河町、太子町、上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

かつては県内各地の丘陵から山地の森林に普通に生息し繁殖していた。淡路島の個体群は1932-33年に宍粟市で捕獲された20-30羽が放鳥され定着したもの。1960年代に個体数・分布域とも減少した。最近はやや生息状況が安定していると考えられているが、単場所である森林の林床がシカに食害されるなど、繁殖活動への影響が懸念される。

保護上の留意点

生息環境である夏緑広葉樹林の保全が重要。狩猟圧をはじめシカの食害による林床の荒廃等も個体数減少の一因となるため、適切な狩猟のあり方の検討や生息域の鳥獣保護区の指定などが必要。

18 ウズラ

(キジ目)

兵庫県ランク: A

Coturnix japonica

繁殖個体群:無 越冬個体群:A 通過個体群:無

環境省ランク: VU

種の概要

モンゴルからシベリア東部、中国東部、朝鮮半島、日本などで繁殖する。繁殖後は中国南部から日本南部、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では北海道から本州北部で繁殖し、本州中部以南で越冬する。古くには京都市、三重県などで繁殖した記録がある。平地から山地の草原や農耕地、河原などに生息し、草の実や昆虫類、クモ類、ミズ類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、明石市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、小野市、丹波篠山市、丹波市、南あわじ市、加東市、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○	○	○			○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌5月に記録がある。かつては個体数は少ないものの県内各地で記録されていたが、1960年以降急減した。当時は、毎年1,000羽程の養殖ウズラが各地で放鳥されていた。草むらの繁みに潜んでいることが多いため目撃されにくい。近年、観察記録は極めて減少している。

保護上の留意点

生息環境である牧場、海岸、河川敷の草原、農地周辺の藪などの保全が重要。

19 ヨタカ

(ヨタカ目)

兵庫県ランク: A

Caprimulgus jotaka

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: NT

種の概要

ヒマラヤからシベリア南東部、中国、朝鮮半島、日本、インドシナ半島、マレー半島などで繁殖する。北方のものは繁殖後は熱帯アジアに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州、四国、九州で繁殖する。山麓から山地の疎林や林縁に生息し、夜間、飛翔中の昆虫類を捕食する。巣らしいものは作らず、地上に産卵する。



写真提供：大隈登

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★宝塚市、★川西市、★三田市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、★淡路市、宍粟市、★加東市、たつの市、猪名川町、多可町、★稲美町、★神河町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら ら休 息 環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-11月に生息し繁殖する。かつては県内各地の山麓から山地で、暮れの頃から早朝まで鳴きつづける声がよく聞かれていた。近年極端に減少した。

保護上の留意点

草原や灌木が隣接する落葉広葉樹や針葉樹の森林の保全が重要。

20 ヒメアマツバメ

(アマツバメ目)

兵庫県ランク: B

Apus nipalensis

繁殖個体群:B 越冬個体群:一 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヒマラヤ東部から中国南部、日本、台湾、東南アジアなどに繁殖分布する。日本では本州中・南西部、四国、九州、沖縄に周年生息し繁殖するが、一部は繁殖後南方に移動し越冬する。平地の河川沿いや住宅地周辺に生息し、飛んでいる小昆虫類を捕食する。建造物に単独または集団で営巣する。



写真提供: 尾崎雄二

(性別: 不明)

国内分布

本州北部、本州中・南西部、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★尼崎市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、赤穂市、★宝塚市、★川西市、★丹波市、淡路市、たつの市、★佐用町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○			○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では局所的だが周年生息し繁殖する。1980年代に入ってから生息するようになったもので、1983年4月に川西市の高等学校で初めて繁殖が確認された。近年は生息地が各地に広がっているが、個体数はあまり多くない。

保護上の留意点

人工構造物で集団営巣するため、繁殖が不安定なところがある。保護のためには、現在営巣している建造物周辺での長期的にわたる保全措置を検討することが必要。

21 ジュウイチ

(カッコウ目)

兵庫県ランク: C

Hierococcyx hyperythrus

繁殖個体群:C 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部から中国北東部、朝鮮半島、サハリン、日本などで繁殖し、繁殖後は東南アジアに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州、四国、九州で繁殖する。森林に生息し、樹上の昆虫類やガの幼虫、クモ類などを捕食する。オオルリ、コルリ、ルリビタキなどに托卵して繁殖する。



写真提供：尾崎由紀

(性別：不明)

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、先島諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★西脇市、宝塚市、★川西市、★加西市、★養父市、★丹波市、南あわじ市、★朝来市、淡路市、宍粟市、たつの市、★猪名川町、多可町、★神河町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
					○	○		○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-9月に生息し繁殖する。繁殖期を過ぎると鳴かなくなるので、秋の記録は多くない。西播北部や但馬地域の高地で繁殖期に鳴き声がよく聞かれるが、他の地域では通過個体が時々記録される程度である。個体数も分布域もやや減少傾向にある。

保護上の留意点

主要な生息環境であるブナの原生林をはじめとする高い山地の発達した自然林の保全が極めて重要。

22 カッコウ

(カッコウ目)

兵庫県ランク: 注

Cuculus canorus

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

アフリカ北西部、ヨーロッパ、ヒマラヤ、シベリア、中国、日本(九州以北)などで繁殖し、繁殖後はアフリカ、アジア南部の熱帯域に渡る。平地から丘陵、山地の森林や疎林、草原に生息し、昆虫の幼虫などを採食する。渡りの時期には都市緑地にも生息する。モズやホオジロ、オオヨシキリ、ビンズイ、セグロセキレイ、キビタキ、クロツグミ、ノビタキなどの巣に托卵することが知られている。



写真提供：友田達也

(性別：オス)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、宇治群島、草垣群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、加西市、丹波篠山市、★養父市、丹波市、南あわじ市、★朝来市、★宍粟市、加東市、★たつの市、★猪名川町、★稲美町、★神河町、上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
					○	○		○	

県内における生息状況およびその他特記事項

県内では主に4-9月に生息し繁殖する。渡りの時期には県内各地で観察されるが、繁殖記録は香美町や養父市などの高原に限られる。県内ではモズの巣に托卵する例が多いが、アオジの巣に托卵していた記録も残されている。近年、北摂・丹波地方の通過個体群でやや減少傾向が認められていたこと、また、最近の繁殖情報があまりなく、今後の動向に注目する必要があることから要注目ランクとした。

保護上の留意点

モズやホオジロ、オオヨシキリなど仮親となる小鳥類が多数繁殖する疎林や草原、ヨシ原などの生息環境の保全及び再生が重要。

23 クイナ

(ツル目)

兵庫県ランク: B

Rallus indicus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部から中国北東部、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は朝鮮半島から日本南部、中国東南部、インドシナ半島北西部、インド北東部などに渡り、越冬する。日本では北海道で繁殖し、本州以南で越冬する。本州では一部で繁殖するところがある。ヨシ原や水田付近の草の繁った湿地に生息し、昆虫類やエビ類などの小動物から草の実まで幅広く採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、粟島、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★宝塚市、高砂市、★川西市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、★稲美町、播磨町、★神河町、★太子町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
	○	○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクからBランクに変更。

県内では主に8-翌4月に生息する。県南部と但馬地域の円山川付近での記録が多いが、単独で越冬する習性をもつため、個体数は多くない。近年、観察情報がある生息地が減り、個体数も少なくなっており、既知の生息地の生息環境の厳重な保全及び再生が重要であるため、Bランクに変更した。

保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原や湿地を必要とするため、それらの環境の保全が必要。減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。

24 ヒクイナ

(ツル目)

Zapornia fusca

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: NT

種の概要

インドから東アジア、日本、東南アジアに広く繁殖分布する。北方のものは繁殖後は熱帯域に渡る。日本では九州以北で繁殖し、繁殖後は南方に渡る。一部は沖縄で越冬する。本州中・南西部から四国、九州でも局地的に越冬するところがある。平地から丘陵地の水田や休耕田、池沼、河原などの湿った草むらに生息し繁殖する。昆虫類やエビ類、カエル類、貝類、草の実などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、天売島、本州北部、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、川西市、小野市、★三田市、丹波篠山市、★丹波市、★南あわじ市、★淡路市、★宍粟市、加東市、★たつの市、猪名川町、★稲美町、播磨町、★神河町、★太子町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

かつては主に4-11月に県内各地の水田地帯や沼沢地に広く生息し繁殖していた。近年は県南東部などで姿が見られなくなった地域がある一方で、局地的ではあるが比較的記録が多く、かつ周年生息する地域もあるなど、生息状況に変化が生じている。

保護上の留意点

本種の主な生息環境である平地から山地にいたる水辺の草地、池沼、湿原などの保全が必要。

25 ヒメクイナ

(ツル目)

Zapornia pusilla

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

アフリカ、ヨーロッパ、アジアの温帯から熱帯、オーストラリアなどに広く分布する。日本では、ヨーロッパ東部からアジア東部で繁殖し、繁殖後に中国南部からアジア南部などに渡るものが、春秋の渡りの時期に渡来する。本州中・北部では繁殖例もある。沖縄では一部が越冬する。ヨシやマコモなどの広がる池沼や水田周りの草むらに生息し、繁みの間を歩きながら水生昆虫類などを捕食する。

写真なし

国内分布

北海道、本州、粟島、舳倉島、隠岐、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、豊岡市、加古川市、宝塚市、三木市、南あわじ市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と10-12月に記録がある。水辺の繁みを潜行し、飛び立つことがあまりないため、その観察記録は非常に少ない。特に1990年代以降の記録が不十分。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、本種の主な生息環境であるヨシ原や湿地の保全が必要。

26 ミヤコドリ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

Haematopus ostralegus

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパ沿岸から中央アジア、中国北東部、ウズリー、オホーツク海沿岸、カムチャツカなどで繁殖し、繁殖後はアフリカ、アラビア、南アジア、中国南部、日本などの海岸に渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に各地に渡来する他、本州と九州では越冬する。干潟、河口、砂浜などに生息し、貝類を好む他、カニ類やゴカイ類、昆虫類も採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舢倉島、四国、九州、対馬、五島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、★西宮市、芦屋市、加古川市、★高砂市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクからCランクへ変更。

県内では主に1月と9月に記録がある。瀬戸内海沿岸では極めて稀に単独個体が記録されるが、日本海側では確認されていない。近年、やや観察情報が増えているが、個体数、生息地ともに極めて限られるため、Cランクに変更した。

保護上の留意点

干潟や河口などの自然環境の保全および再生が必要。

27 セイタカシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Himantopus himantopus

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ中南部、ヨーロッパ南部から中国北部から東南アジアなどの温帯から熱帯域で繁殖する。繁殖後も一部は繁殖地周辺に生息するが、多くはアフリカ、アジア南部、中国南東部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州の一部では繁殖するところがある。湖沼畔、河口、湿地、水田、干潟、埋立地などに生息し、泥中の水生昆虫類や魚類、甲殻類などを採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、甌島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★高砂市、丹波篠山市、養父市、★丹波市、南あわじ市、淡路市、★加東市、★稲美町、播磨町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 殊ら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
		○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-11月に記録がある。古い記録はない。近年に渡来するようになったもので、個体数は極めて少ない。2020年から繁殖が確認されているが、極めて局地的で、嚴重な保護対策が必要。

保護上の留意点

生物多様性保全を目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。水田や草を刈り、水を入れる休耕田も、貴重な採餌場となっている。既知の生息地では周辺住民への啓蒙を含め、地域全体で保護する機運を醸成することが必要。

28 ダイゼン

(チドリ目)

Pluvialis squatarola

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリアからアラスカ北部、カナダ北部の北極ツンドラで繁殖し、繁殖後はアフリカからアジア南部、オセアニア、南アメリカなどの海岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、沖縄では一部が越冬する。主に干潟に生息し、特にゴカイ類を好み、甲殻類や昆虫類なども採食する。面積の広い干潟で、群れで越冬する。

国内分布

北海道、南千島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、種子島、馬毛島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★洲本市、伊丹市、豊岡市、加古川市、★赤穂市、★高砂市、南あわじ市、★淡路市、たつの市、稲美町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個 体 数 激 減	分 布 域 激 減	餌 の 可 用 性 の 低 下	特 殊 競 争 圧	特 殊 捕 食 圧	特 殊 繁 殖 環 境	特 殊 採 餌 環 境	ね 特 殊 ら 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○			○	○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-6月と8-11月に生息するが、冬期の記録も稀ではない。かつては瀬戸内側で広く記録されていたが、近年の生息環境の減少に伴い、個体数も分布域も減少している。現在は播磨西部地域、播磨東部地域でわずかに残された干潟や河口、水田などで記録されている。県北部での記録は少ない。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全および再生が重要。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

29 イカルチドリ

(チドリ目)

Charadrius placidus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:一 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部から中国中・東部、朝鮮半島北部、日本などの温帯などで繁殖し、繁殖後は朝鮮半島南部、日本、中国南部、東南アジアなどに渡る。日本では本州、四国、九州で繁殖する。多くは繁殖後も繁殖地周辺に残るが、一部は南方に移動する。河川の中流域から上流域、湖沼、水田などに生息し、昆虫類やイトミズ類などを採食する。繁殖は主に河原の砂礫地を利用するが、造成地でも営巣する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、上三島諸島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、養父市、★丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、猪名川町、多可町、★稲美町、★神河町、太子町、★上郡町、佐用町、香美町、新温泉町、丹波篠山市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら ら休 息 環 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○			○	○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年生息し繁殖する。近年、主要な繁殖地である河原の砂礫地の遷移による草原化と人による過度な利用などにより繁殖環境が減少するとともに、繁殖成功率が低下している。

保護上の留意点

河川の砂礫環境の再生および繁殖期における河川敷の砂礫地への人の立ち入りを制限するなどの措置が必要。

30 シロチドリ

(チドリ目)

Charadrius alexandrinus

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパ西部からアフリカ北部、アラビア半島、インド北西部、中央アジア、中国、朝鮮半島、サハリン、日本などに繁殖分布する。北方のものは繁殖後は温帯から熱帯域に渡る。河川の下流や河口の砂州、海岸砂浜に生息する。冬期は大きな群れが干潟や砂浜で見られる。甲殻類やゴカイ類、貝類などを採食する。砂地や砂礫地の地面に営巣する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛鳥、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、壱岐、対馬、五島列島、男女群島、甌島列島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、西之島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、★加古川市、赤穂市、★高砂市、養父市、★南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、★播磨町、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○		○	○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年生息し繁殖する。主に県南部に分布し、県北部では少ない。近年、河川敷の荒廃と砂地の減少、海岸の人工化に伴い繁殖地が著しく減少・悪化しており、繁殖個体群の消滅が危惧されている。また、本種は良好な砂浜環境の指標種としても重要である。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や砂浜、河口などの自然環境の保全および再生が重要。また、繁殖期に本種が見られる地域では、その繁殖環境である海岸砂浜や河川の砂州、砂礫地への人の立ち入りを制限するなどの措置が必要。



写真提供：鳥田陽子

(性別：オス)



写真提供：鳥田陽子

(性別：メス)

31 オオメダイチドリ (チドリ目)

Charadrius leschenaultii

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

トルコから中央アジア、モンゴル東部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、アジア南部、太平洋の島嶼、オーストラリアなどに渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に少数が本州以南に渡来する。沖縄では一部が越冬する。海岸や河口に近い干潟、砂浜に生息する。小型のカニ類を好んで採食する。

国内分布

北海道、天売島、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、上三島諸島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：加地啓子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、豊岡市、加古川市、高砂市、★南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息 環 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
	○	○					○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と7-10月に記録があるが、記録も個体数も極めて少ない。本来の生息環境は減少しており、最近では、河口や海岸部の埋め立て工事中に一時的に出来た湿地などで記録されている。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全および回復が重要。

32 タマシギ

(チドリ目)

Rostratula benghalensis

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ中南部から南アジア、東南アジア、中国東部、日本南部などに繁殖分布する。繁殖後も多くは繁殖地周辺に生息するが、一部は暖かい地方に移動し越冬する。日本では本州中・南部、四国、九州、沖縄に周年生息し繁殖する。平地の水田、休耕田、ハス田、河川などの湿地に生息し繁殖する。主に甲殻類や貝類、昆虫類の幼虫、ミズ類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、本州北部、飛島、本州中・南西部、佐渡、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、種子島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：加地啓子

(性別：メス(左)、オス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、丹波市、★南あわじ市、★たつの市、淡路市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○		○	○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息し繁殖する。かつては阪神・東播・西播・丹波地域に多数生息していた。圃場整備事業や河川改修、ため池の護岸工事などにより餌の減少や生息環境が失われ、個体数や分布域が急減している。県北部での観察記録も少ない。

保護上の留意点

営巣地が極めて減少しているため、現在繁殖期の生息が確認されているところでは、その生息環境の保全が必要。

33 ホウロクシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Numenius madagascariensis

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

シベリア中東部、ウスリー、中国北東部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアからオーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。沖縄では一部が越冬する。海岸の砂浜や干潟、河口に生息するが水田、草地などでも見られることがある。大型のカニ類を好むが、甲殻類、ゴカイ類も採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、南あわじ市、淡路市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-6月と9-10月に記録がある。かつては県南部に単独か数羽の群れが定期的に渡来していた。近年は分布域が限られてきており、少数が記録される程度となっている。県北部でも、少ないが記録されている。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

34 ダイシャクシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Numenius arquata

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパからアジア北部などで繁殖し、繁殖後はアフリカからアジア南部などの海岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。主に干潟や河口に生息するが、海岸に近い干拓地の湿地や農耕地などでも見られる。主に大型のカニ類を好んで採食する。



写真提供：尾崎由紀

(性別：不明)

国内分布

北海道、本州北部、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、★西宮市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、高砂市、淡路市、たつの市、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-11月に記録がある。かつては県南部に少数が定期的に渡来し、稀ではあるが越冬例もあった。近年は個体数も分布域も減っており、阪神地域や播磨西部地域で少数が記録される程度となっている。県北部での記録は稀である。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

35 オオソリハシシギ

(チドリ目)

Limosa lapponica

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

スカンジナビア半島北部からシベリア北部、アラスカ西北部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアからオーストラリア、ニュージーランド、太平洋西南部の諸島、ハワイなどの海岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。沖縄では一部が越冬する。干潟や河口、海岸の砂浜、河原、水田、ハス田に生息する。ゴカイ類を特に好み、甲殻類や貝類、昆虫類なども採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

※冬羽

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、淡路市、たつの市、★稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-6月と8-10月に生息する。かつては県南部では50羽から100羽前後の群れが普通に観察されており、越冬例も稀ではなかった。1977年5月には甲子園浜で200羽の群れが記録されている。しかし、生息地の減少に伴い急減し、現在では数羽の群れが記録されるのみである。県北部での記録は少ない。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

36 オグロシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Limosa limosa

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ中北部からシベリア、カムチャツカ、サハリン、中国北東部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ、アジア南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟、河口、海岸に近い池沼や水田、泥地に生息する。主にゴカイ類、ミズ類、昆虫類や甲殻類などを採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、★南あわじ市、淡路市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-10月に記録がある。かつては県南部で10-20羽の群れが普通に記録されていた。現在では、多くの生息地が消滅し、渡りの時期に単独個体が時々観察される程度である。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。

37 キョウジョシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

Arenaria interpres

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパ北部からシベリア北部、アラスカ北部、カナダ北部、グリーンランドの北極圏などで繁殖し、繁殖後は熱帯域や南半球に渡り、越冬する。日本には春秋の渡りの時期に渡来するが、沖縄では一部が越冬する。干潟、河口、岩礁海岸などに生息する。嘴を小石や貝殻などの下に差し込み裏返して、その下に潜むカニやトビムシ、貝などを捕食する。昆虫や死んだ魚も食べる。



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、西之島、硫黄列島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、★芦屋市、伊丹市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、★高砂市、加西市、南あわじ市、淡路市、福崎町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
						○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。

県内では主に4-5月と8-10月に生息するが、6・7月にも稀に観察されている。古くは1966年5月に西宮市甲子園浜で300羽が記録されているように、瀬戸内海沿岸に多数渡来していたが、1990年頃には減少傾向にあった。最近では20羽前後の群れが観察されることも稀になり、通常は数羽から5-6羽程度の群れとなっている。今後の動向に注目する必要があることから、要注目ランクとした。

保護上の留意点

現在も生息が確認されている干潟の自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

38 オバシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris tenuirostris

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア北東部の北極圏に近い高山ツンドラで繁殖し、繁殖後は西アジアから南アジア、オーストラリアなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟、河口、海岸の砂浜や岩礁などに生息する。ゴカイ類や甲殻類、貝類などを採食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、南あわじ市、淡路市、たつの市、★稲美町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクへ変更。

県内では主に4-5月と8-10月に生息する。かつては県南部で数十羽の群れが普通に見られたが、近年は干潟の埋め立てなどにより生息環境が消滅し、数羽から10羽程度のの小群が記録されるのみである。また、県北部では少なく、最近では渡来地も極めて限られることから、Bランクに変更した。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

39 コオバシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris canutus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からアラスカ、カナダ、グリーンランドなどの北極ツンドラで繁殖し、繁殖後はヨーロッパ西部、アフリカ南部、オーストラリア、南アメリカ南部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟や河口、入り江、砂浜の海岸などに生息し、ゴカイ類、貝類、甲殻類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：北野光良

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、相生市、加古川市、★高砂市、たつの市、稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と9-10月に記録がある。主に県南部で記録されるが、大抵は単独か数羽で、個体数は少ない。近年、生息環境の多くが消滅した。最近では稀に観察される程度になっている。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

40 エリマキシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris pugnax

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパ北部、シベリア北部などで繁殖し、繁殖後は西アフリカ、ヨーロッパ南部からアジア南部、中国南東部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。水田や休耕田、ため池など、内陸の湿地に生息するが、干潟や河口、海岸の埋立地などでも見られる。エビ類、ミズ類、貝類、昆虫類などを採食する。



写真提供：出口敦司

(性別：オス)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、壱岐、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、加西市、★南あわじ市、淡路市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-11月に生息するが、冬期にも記録がある。県南部では単独か数羽の群れが記録されていたが、生息環境の消失に伴い、現在は県南部では播磨東部や淡路島で僅かに記録される程度である。県北部でも記録されるが、個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。

41 キリアイ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris falcinellus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパ北部からシベリア北部などで繁殖し、繁殖後はエチオピアからアジア南部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来する。干潟、河口、海岸の砂浜や埋立地に生息し、甲殻類やゴカイ類、昆虫類の幼虫などを採食する。水田にも飛来することがある。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、伊丹市、加古川市、三木市、★高砂市、★南あわじ市、淡路市、稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
	○	○				○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5月と8-10月に生息する。県南部での記録がほとんどである。1969年9月には姫路市白浜で20羽群の記録もあるが、多くは単独か数羽の記録である。多くの生息地は失われており、個体数は減少している。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

42 ウズラシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris acuminata

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北極シベリアで繁殖し、繁殖後はニューギニア、オーストラリア、ニュージーランド、太平洋南西の諸島などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。水田、埋立地、池や沼の湿泥地など内陸の湿地に生息し、甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供: 森田俊司

(性別: 不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛鳥、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、南鳥島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★加西市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では4-5月と8-11月に記録があるが、個体数は少ない。古くから県南部では単独か数羽の群れが記録されている。しかし、多くの生息地が失われる中で減少傾向が続いている。県北部でも記録されることがある。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田はこの鳥には貴重な採餌場となっている。

43 サルハマシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris ferruginea

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北極シベリアで繁殖し、繁殖後はアフリカから西アジア、アジア南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟、水田、河口、海岸に近い砂浜や湿地に1羽-数羽で生息し、貝類や甲殻類を採食する。



写真提供: 友田達也

(性別: 不明)

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★豊岡市、加古川市、南あわじ市、淡路市、たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-6月と8-9月に記録がある。県南部では単独か数羽での不定期な記録がある。現在では生息環境の多くは消滅しており、さらに記録されなくなっている。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて積極的な再生のための環境整備が重要。

44 オジロトウネン

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris temminckii

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパから東ヨーロッパ北部、シベリア北部などで繁殖し、繁殖後は西アフリカからアジア南部、中国南部、台湾などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。水田、川岸などの内陸の湿地などに生息し、甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供：加地啓子

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甞島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、明石市、★西宮市、★伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、加西市、★淡路市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

兵庫県では主に9-翌4月に記録がある。渡来は比較的稀で個体数も少ない。最大は1981年10月の稲美町加古大池での10羽で、多くは単独か数羽の群れである。県南部では冬期に水の抜かれたため池で記録されることが多い。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。

45 ヒバリシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris subminuta

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部などで繁殖し、繁殖後は南アジア東部から東南アジア、オーストラリアなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。水田、休耕田、沼地、埋立地など草の生えた内陸の湿地に生息する。泥地を歩きながら甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、甌島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、
★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、★南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-10月に記録がある。古くから県南部では単独か数羽の群れが記録されている。主要な生息地が消滅した現在でも観察されるが個体数は少ない。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田は本種の貴重な採餌場となっている。

46 ヘラシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris pygmaea

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: CR

種の概要

シベリア北東部からカムチャツカ北部などの北極沿岸ツンドラで繁殖し、繁殖後は中国南東部からインドシナ半島などの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、記録は極めて少ない。干潟、海岸の砂浜、埋立地など、海に近い湿地に生息し、カニ類やエビ類、ゴカイ類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、奄美諸島、琉球諸島



写真提供: 三木敏史

(性別: 不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、尼崎市、西宮市、豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 殊ら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では5月と9-10月に記録がある。県南部での記録がわずかにあるのみで、個体数も極めて少ない。最近では極めて稀で、公にされた記録は見当たらない。

保護上の留意点

干潟や砂泥質海岸および海岸から内陸に続く湿地の自然環境の積極的な再生に取り組むことが必要。

47 ミユビシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris alba

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア中北部、アラスカ北部、カナダ、グリーンランドなどの北極ツンドラで繁殖し、繁殖後はアフリカ、西ヨーロッパからアジア南部、オーストラリア、南アメリカなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。大きな群れで行動することが多い。干潟でも見られるが、砂浜の海岸で波打ち際を走り回って貝類や甲殻類を採食することが多い。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、★芦屋市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、加西市、★淡路市、たつの市、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-11月に記録がある。大群で行動することが多いとされるが、県内では大きな群れの記録はほとんどない。大抵は1羽か数羽の小群で記録されている。県北部でも記録はあるが少ない。最近では渡来地が極めて限られるようになった。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

48 ハマシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

Calidris alpina

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: NT

種の概要

北ヨーロッパ北部からシベリア、アラスカ、カナダ、グリーンランドなどの北極ソンドラで繁殖し、繁殖後は温帯から熱帯域に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。干潟や湖沼、湿地、河川の植生のない水際、水田などに生息する。貝類やゴカイ類、甲殻類、ミズ類、昆虫類の幼虫などを採食する。

国内分布

本州、九州



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、★高砂市、三田市、加西市、丹波市、南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら ら休 息 環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では8-翌5月に生息する。県南部では、かつては春秋の渡りの時期に200-500羽の群れが見られていた。1974年4月には西宮市甲子園浜で2,000羽の大群が記録され、1988年には1,000羽単位の越冬群も記録されている。近年の生息地の消滅に伴い個体数が減少している。県北部でも記録されるが多くはない。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全が重要。また、生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理も重要。

49 ヤマシギ

(チドリ目)

Scolopax rusticola

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパからシベリア南部、中国西部、サハラ、日本北部などで繁殖し、繁殖後は北アフリカ、アジア南部、日本南部などに渡り、越冬する。日本では主に本州北部以北で繁殖し、本州中部以南で越冬するが、本州中部でも一部繁殖するところがある。平地から山地の森林に生息し、主に夜間に行動する。林内や林縁、農耕地などでミミズ類を好んで採食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、天売島、本州北部、飛島、本州中部、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、西宮市、★洲本市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、高砂市、★川西市、★三田市、丹波篠山市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、猪名川町、稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね 特 ぐ 殊 ら 休 環 息 境 ・	局 地 的 繁 殖	希 少
						○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月上旬に生息する。夜行性であるため人の目につきにくいこともあるが、県南部では記録されなくなった地域が増えている。

保護上の留意点

生態については情報が少なく、不明な点が多いが、薄暗い湿った林に好んで生息し、山間の湿地環境が主要な採食地となっていることから、山間部の湿地を良好に維持することが本種の保護にも繋がると考えられる。

50 アオシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Gallinago solitaria

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

アルタイ山脈、テンシャン山脈、中国北東部からカムチャツカなどで繁殖し、繁殖後も多くは繁殖地周辺の暖かい地域で越冬するが、一部はアジアの温帯から熱帯、中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。山地の溪流沿いや水田、山間部の湿地などに単独で生息する。昆虫類やミミズ類、陸生貝類などを採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★洲本市、★宝塚市、川西市、三田市、丹波篠山市、丹波市、宍粟市、佐用町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 殊休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○						○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に生息する。県南部の河川の上流部では毎年記録されているが、生息する環境も限られている。個体数は極めて少ないと考えられる。

保護上の留意点

主な生息地となっている山間部の湿地で乾燥化が進んでいるところがあり、本種の減少要因ともなっているため、山間の湿田などで、本種の採食地となる環境を保全していくことが必要。

51 オオジシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Gallinago hardwickii

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: NT

種の概要

ウスリー南東部、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後はオーストラリアに渡り、越冬する。日本では北海道と本州北部で繁殖する他、春秋の渡りの時期に本州中部以南に渡来する。本州中部から九州の一部高原では繁殖するところがある。繁殖期は山地の草原に生息するが、渡りの時期には平地の草地、農耕地、湿原、河川敷にも姿を現し、ミズ類や昆虫類、貝類、草の種子などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、硫黄列島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島



写真提供: 松重和太

(性別: 不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、★洲本市、伊丹市、★宝塚市、豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、丹波篠山市、丹波市、南あわじ市、加東市、稲美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と9-11月に生息する。かつては県内各地で記録されていた。近年は県南部と北部で少数が記録される程度だったが、最近はさらに観察記録が減っている。

保護上の留意点

湿田や水を張った休耕地などの保全に加え、河口や河川敷、池沼などでの沼沢地的環境の再生が必要。渡りのコースとの関係もあるため、現在渡来が確認されている場所の保全は特に重要。

52 チュウジシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Gallinago megala

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

カザフスタン北東部、シベリア中南部、モンゴル中北部、アムール地方などで繁殖し、繁殖後はアジア南部、中国南東部、スンダ列島、オーストラリアなどに渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に本州以南に渡来する。池沼や水田、湿地、草地、河川に生息する。ミズ類や甲殻類、軟体動物、昆虫類などを採食する。



写真提供：松重和太

(性別：不明)

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、丹波篠山市、丹波市、南あわじ市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-10月に生息する。かつては県中・南部で20羽前後の群れが普通に見られ、1967年4月に加古川市尾上ではオオジシギ5羽が混じる41羽が記録されている。近年は数羽から10羽程の小群となり、記録される地域も限られている。最近では観察記録がない。

保護上の留意点

湿田や水を張った休耕田などの保全に加え、河口や河川敷、池沼などでの沼沢地的環境の再生が必要。渡りのコースとの関係もあるため、現在渡来が確認されている場所の保全は特に重要。

53 タシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

Gallinago gallinago

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、中央アジア、中国北東部、インド北部などで繁殖し、繁殖後はアフリカからヨーロッパ南部、アジア南部などの温帯・熱帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、本州、四国、九州、沖縄で越冬する。湖沼や水田、ハス田、湿地、河川に生息する。水辺でくちばしを泥の中にさしこんでミズ類や甲殻類、軟体動物、昆虫類を採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、小野市、★三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、宍粟市、加東市、★たつの市、★猪名川町、★稲美町、★神河町、上郡町、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
	○					○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからCランクへ変更。
県内では主に8-翌5月に生息する。かつては県北部や中南部で数十羽から100羽前後の群れが見られていた。近年は単独または数羽の小群が記録される程度に減っている。水草が多いため池の水が抜かれると多数の個体が飛来する。豊岡市で多くの個体が越冬しており、シギの中では他種より比較的に見られるため、Cランクに変更した。

保護上の留意点

湿田や水を張った休耕田などの保全に加え、河口や河川敷、池沼などでの沼沢地的環境の再生が必要。特に現在越冬が確認されている場所における生息環境の保全と再生が重要。

54 ソリハシシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Xenus cinereus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ロシア西部からシベリアなどで繁殖し、繁殖後は東アフリカから西アジア西部、アジア南部、オーストラリアなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟、河口、海岸近くの湿地、水田などに生息し、ゴカイ類、貝類、カニ類、昆虫類などを採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、加西市、★南あわじ市、★淡路市、たつの市、★稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-6月と8-10月に生息する。瀬戸内の沿岸では比較的古くから記録が残されている。ただし、1967年9月に姫路市興浜23羽の記録を除くと大抵は数羽から10羽までの群れである。近年は生息地の消滅に伴い個体数も減少した。県北部でも観察されている。最近では単独個体が時々観察される程度である。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。

55 アカエリヒレアシシギ (チドリ目)

Phalaropus lobatus

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、アラスカ、カナダ、グリーンランドなどの北極沿岸や島嶼で繁殖し、繁殖後は西太平洋、アフリカ大西洋沿岸、南アメリカ太平洋沿岸などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来する。主に海上に生息するが、干潟や内陸の湿地にも飛来することがある。主にプランクトンや水生昆虫、甲殻類など、水中の小動物類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、宇治群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、三田市、淡路市、加東市、★神河町、香美町、新温泉町



写真提供：加地啓子

(性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○						○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-6月と8-9月に生息する。主に紀淡海峡や明石海峡周辺に群れをなして渡来している。1983年6月には岩屋沖で約5万羽が記録されたことがあるが、現在では激減しているとみられる。県北部でも時々記録がある。しかし、海上の生息状況はよくわかっていない。

保護上の留意点

藻場を含む海域の保全が重要。同時に海上での生息調査を行い、減少要因を探ることが必要。

56 イソシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

Actitis hypoleucos

繁殖個体群:C 越冬個体群:- 通過個体群:-

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパとアジアの中部から北部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、西ヨーロッパ、西アジア、アジア南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。日本には春秋の渡りの時期に渡来する他、本州、四国、九州には周年生息し繁殖する。河川敷、河口、湖沼、湿地、水田、海岸などに生息する。水辺で昆虫類やミミズ類、貝類、エビ類、カニ類などを採食する。河川敷や池沼の草むらで繁殖する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★神河町、★太子町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○			○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年記録がある。多くは春秋の渡りの時期に渡来するが、少数は繁殖および越冬している。公表されている繁殖地は武庫川のみだが、多くの主要河川では繁殖の可能性はある。

保護上の留意点

繁殖地の保全が重要。現在繁殖期に生息が確認されている場所では、繁殖期に人の立ち入りを制限するなどの工夫が必要。

57 アカアシシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Tringa totanus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパからアジア中部などで繁殖し、繁殖後はアフリカからアジア南部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。個体数は少ない。干潟や河口、河川、水田、ため池、ハス田などの内陸の湿地に生息する。泥中の昆虫類の幼虫や甲殻類などを採食する。



写真提供: 友田達也

(性別: 不明)

国内分布

北海道、南千島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、福崎町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-10月に記録がある。1960年代までは県南部で比較的多く記録されたが、1970年以降減ってきている。ただし、1968年4月に加古川市尾上で8羽の記録もあるが、多くは単独か数羽の小群である。近年は生息地の多くが消滅したため、記録も少なくなっている。県北部でも少ないが記録されている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。

58 コアオアシシギ

(チドリ目)

Tringa stagnatilis

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

東ヨーロッパから中央アジア、アムール地方などで繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、西アジア西部、アジア南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。干潟、河口、湿地、水田、ハス田などに生息する。昆虫類の幼虫や甲殻類、オタマジャクシ、貝類などを採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甬島列島、宇治群島、屋久島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：北野光良

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、★南あわじ市、淡路市、★たつの市、★稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-11月に生息する。かつては瀬戸内側で、単独個体が水辺の深みに胸までつかったり泳いだりする姿がよく見られた。近年は県中南部と北部の一部で少数が観察されていた。最近では観察記録が極めて少なくなった。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。

59 タカブシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Tringa glareola

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

北ヨーロッパから東ヨーロッパ、シベリア、カムチャツカ、千島列島北部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、アジア南部、中国南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。河口、河川、湿地、池沼、水田、ハス田などに生息し、昆虫類や甲殻類、ミズ類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島



写真提供: 森田俊司

(性別: 不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、西宮市、★洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、★高砂市、小野市、三田市、加西市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、淡路市、加東市、★たつの市、★稲美町、神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-11月に生息するが、冬期にも記録がある。かつては県南部および北部で30羽-50羽前後の群れも稀ではなかったが、近年には単独または数羽、多くても10羽程度の群れが観察される程度に減った。最近では渡来地もかなり限定的となっている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、本種には貴重な採餌場となっている。

60 ツルシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Tringa erythropus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパからアジアの北部で繁殖し、繁殖後はアフリカ中部、アジア南部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。海岸近くの湿地や沼沢地、水田、ハス田などに生息することが多い。昆虫類やタニシなどの貝類、エビなどの甲殻類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛鳥、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：北野光良

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★南あわじ市、加東市、★稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-11月に生息する。かつては県南部で春には10数羽から数10羽の群れが普通に渡来していた。1967年4月には加古川市尾上で383羽の記録がある。近年は埋め立てにより生息環境が消失し、2-数羽が記録されるのみである。県北部でも記録されている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。

61 アオアシシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Tringa nebularia

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア東部まで広く繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、アジア南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。干潟、河口、河原、湿地、湖沼、水田などに生息し、昆虫類、甲殻類、ミズ類、オタマジャクシなどを採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、礼文島、南千島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、川西市、小野市、★南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-6月と8-11月に生息するが、冬期にも記録がある。かつては県中・南部で単独または数羽の小群が少なからず記録されていた。近年は生息地の減少に伴い渡来地は減っている。県北部でも少ないが記録されている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。

62 ツバメチドリ

(チドリ目)

Glareola maldivarum

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

南アジアからインドシナ半島、中国、モンゴル、シベリア東部、日本、台湾などで繁殖し、繁殖後はマレー半島からオーストラリアなどに渡り、越冬する。日本には主に春秋の渡りの時期に渡来する他、一部が沖縄で繁殖する。また、本州中部以南でも繁殖することがある。干潟や農耕地、埋立地、河原などに生息し、砂礫地で営巣する。飛びながらトンボやハエ、ガなどの昆虫類を主に採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、三木市、★南あわじ市、加東市、★たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では3-10月に記録がある。1952年8月と53年8月には姫路市妻鹿海岸で7羽の記録があり、1954年まで渡来していた。その後は、県中・南部で単独-数羽が断続的に記録されていたが、最近の記録は極めて少ない。

保護上の留意点

広い干潟や砂礫環境の保全が重要。

63 ミツユビカモメ

(チドリ目)

Rissa tridactyla

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、カムチャツカ、アリューシャン列島、アラスカ、カナダ、グリーンランドなどの北極沿岸で繁殖し、繁殖後にはやや南方に渡り、越冬する。日本では主に本州中部以北の太平洋上で越冬する。本州南西部以南には不定期に渡来する。外洋に生息するため海岸で観察される機会は少ない。主に魚類を採食する。



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州北・中部、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、伊豆諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

明石市、西宮市、洲本市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★淡路市

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○									

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9月と12-翌3月に記録がある。県南部と県北部の沿岸で単独または5-7羽の群れが稀に記録されているが、個体数、観察例ともに極めて少ない。ただし、外洋に生息しているため、その実態はよくわかっていない。

保護上の留意点

海洋における分布および生息に関する調査が必要。また、餌となる魚類の生息環境である藻場の保全および再生が重要。

64 ズグロカモメ

(チドリ目)

Saundersilarus saundersi

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク: VU

種の概要

中国東部の渤海と黄海沿岸、朝鮮半島西海岸などで繁殖し、繁殖後は中国中西部から朝鮮半島南部、日本、台湾などに渡り、越冬する。日本では主に本州、四国、九州、沖縄で越冬する。内湾や干潟、海上に生息し、カニ類、エビ類、魚類、貝類、昆虫類などの小動物や魚類の死骸などを採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、本州、佐渡、角島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★高砂市、★養父市、★淡路市、たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌5月に生息する。かつては稀に県南部で4-5月に1-3羽が記録される程度であり、不定期な渡来と考えられていたが、1990年前後から冬期にも定期的に記録されるようになった。2000年頃からは加古川河口やたつの市の沿岸、内陸の湖沼にも少数が渡来しているが、個体数は極めて少なく渡来地も限定されている。

保護上の留意点

加古川河口両岸のヨシ原の湿地にはズグロカモメの餌となるカニ類が生息しており、本種の餌場の確保のため、カニ類が生息できる環境を保全することが重要。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

※夏羽



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

※冬羽

65 オオアジサシ

(チドリ目)

兵庫県ランク: 注

Thalasseus bergii

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ南部からアジア南部、オーストラリアなどの沿岸、太平洋南西部の島嶼、小笠原諸島などで繁殖し、繁殖後は主に海上で過ごす。日本では、春秋の渡りの時期に本州、四国、沖縄などに渡来する。西之島や尖閣諸島などに少数の繁殖コロニーがある。海岸や湖沼に生息し、主に魚類を採食する。

国内分布

本州、四国、九州、伊豆諸島、小笠原群島、西之島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣列島、南大東島、太平洋本州中部沖、伊豆諸島沖、小笠原諸島沖、東シナ海、南西諸島沖



写真提供: 三谷康則

(性別: 不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、加古川市、高砂市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では8-11月に記録がある。古くは1950年10月に明石沖で記録されただけで、迷行種と考えられていたが、1974年以降、姫路市白浜沖や加古川河口で10-20羽の群れが秋に記録されるようになった。近年は姫路市の沖合いに少数が定期的に渡来していたが、最近の記録はなく、今後の動向が注目される。

保護上の留意点

生息域の自然環境の保全および漁業用の多くの竹竿が重要な休息の場となっており、維持することが重要。

66 コアジサシ

(チドリ目)

兵庫県ランク: A

Sternula albifrons

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ、ヨーロッパ、アジア、オーストラリア沿岸の温帯から熱帯域で繁殖し、北方のものは繁殖後は熱帯域から南半球の沿岸に渡り、越冬する。日本には春に渡来し本州、四国、九州、沖縄で繁殖する。海岸、河川沿い、湖沼に生息し、海岸の砂浜や河川の中州、埋立地などの砂礫地に集団で営巣する。主に小魚類を採食する。



写真提供: 森田俊司

(性別: 不明)

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、養父市、南あわじ市、朝来市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、播磨町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○			○	○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクへ変更。

県内では4-9月に生息し繁殖する。かつては主に県南部の各地で集団繁殖していたが、近年は自然の繁殖適地がほぼ消滅し、残された砂浜や埋立地の裸地で僅かに繁殖する程度となっている。最近では、観察されることが極めて少なく、繁殖地も極めて限られている。極力、現在の繁殖地の厳重な保全及び新たな繁殖環境の創出が必要とされており、Aランクに変更した。

保護上の留意点

現在コロニーが形成されている造成地などの砂礫地が消滅した場合、本種の生息は極めて危機的な状況に陥ると考えられる。本種の保全のためには、海岸近くで一定の広さを持つ砂礫環境の確保および人工構造物の屋上などに繁殖環境を創出・維持するなどの努力が必要。汚水処理場の屋上で繁殖を成功させている例もある。また、砂浜や河川敷の砂礫地といった自然の繁殖環境の再生や繁殖期の人の立ち入り制限などの措置もあわせて行うことが必要。

67 アジサシ

(チドリ目)

Sterna hirundo

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

アフリカ北西部からヨーロッパ、アジア、北アメリカ北東部に広く繁殖し、繁殖後はアフリカからアジア南部、オーストラリア、南アメリカなどの沿岸に渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に本州、九州、沖縄などに渡来する。海上、海岸、河口、広い河川、湖沼に生息する。主に魚類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖



写真提供：松重和太

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、稲美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 ら息 環境・	局的 繁殖	希 少
	○								

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクから要調査ランクへ変更。

県内では主として4-6月と8-11月に生息する。1960年代には瀬戸内の海岸近くで、1,000羽から5,000羽の大群が記録され、夏期にも少数が見られた。その後、次第に減少し、近年では10-100羽程の群れが県南部で見られる程度で、最近はさらに減少している。県北部でも記録があるが少なく、情報不足のため、要調査ランクへ変更した。

保護上の留意点

餌となる魚類の生育環境である藻場や干潟の保全および再生が重要。

68 クロハラアジサシ (チドリ目)

Chlidonias hybrida

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

アフリカ南部、西ヨーロッパ、アジア南部、中国東部、オーストラリアなどで繁殖し、北方のものは繁殖後は熱帯域から南半球に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州では一部が越冬する。海上や海岸、湖沼、湿原などに生息し、小魚類や昆虫類を採食する。

国内分布

北海道、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甕島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
							○		○



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。
県内では主として5-12月に記録がある。古くは1956年10月に伊丹市昆陽池で1羽の記録があるだけで、迷行種と考えられていた。1970年代後半から県中・南部で時々観察されるようになった。昆陽池では2012年9-10月に50羽前後の群れが約1ヵ月間、断続的に観察された例も出ている。最近では観察情報がやや増える傾向にあり、今後の動向に注目する必要があるため、要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

餌となる多くの魚類の生息する沿岸沿いの藻場や干潟および海岸から内陸に続く河川、池沼などの自然環境の保全および再生が重要。

69 ハジロクロハラアジサシ (チドリ目)

Chlidonias leucopterus

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ南東部から西アジア、中央アジア、中国北東部などで繁殖し、繁殖後はアフリカからアジアの熱帯域、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。海岸、広い河川、湖沼、湿原などに生息し、主に昆虫類、小魚類などを採食する。

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：片岡宣彦

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、たつの市、★稲美町



写真提供：片岡宣彦

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 殊休 ら息 環 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-11月に記録がある。古い記録はなく、1980年から瀬戸内側で稀に記録されるようになった。公にされている記録は少なく、生息状況はあまりわかっていない。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、餌となる多くの魚類の生息する沿岸沿いの藻場や干潟および海岸から内陸に続く河川、池沼などの自然環境の保全および再生が重要。

70 マダラウミスズメ (チドリ目)

Brachyramphus perdix

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク: DD

種の概要

オホーツク海、カムチャツカ、サハリン、北海道などの沿岸で繁殖し、繁殖後は主にオホーツク海の南部から日本周辺(北海道南部から本州周辺)の海域に渡り、越冬する。海上に生息するが、繁殖地は山地の深い原生林内とされる。小魚類を主食とする。



写真提供: 尾崎雄二

(性別: 不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、見島、四国、九州、伊豆諸島、奄美大島、沖縄諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、伊豆諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

明石市、西宮市、加古川市、高砂市、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に1-3月に記録がある。1950-1965年頃には東播磨地域の沖合いで2-3羽の群れが定期的に記録されていたが、その後、しばらく生息が確認されなくなった。2000年に西宮市沖で記録されているが、現在は観察記録はなく、生息状況は全くわかっていない。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、藻場の再生を含め、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

71 ウミスズメ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

Synthliboramphus antiquus

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: CR

種の概要

カムチャツカ、オホーツク海、サハリン、千島列島、日本海、アリューシャン列島、アラスカ湾、カナダ南西部の沿岸と島嶼などで繁殖し、繁殖後一部は南方海域に渡る。日本では北海道周辺の島嶼で繁殖し、繁殖後は主に本州、四国、九州周辺の海域で越冬するが、繁殖地周辺にも生息する。普段は沖合いの海上に生息するが、厳冬期には内湾や港などにも飛来する。潜水して魚類や甲殻類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、友知島、ハボマイモシリ島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、三貫島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、硫黄列島、奄美大島、沖縄諸島、先島諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★明石市、西宮市、★洲本市、★豊岡市、加古川市、高砂市、★南あわじ市、淡路市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクからCランクへ変更。
県内では主に11-翌3月に生息する。かつては瀬戸内の海上で数羽から数十羽の群れが越冬し、明石市二見沖では1952年2月に95羽、1953年2月に50羽が記録されている。しかし、1960年代以降急減し、1970年代には全く姿が見られなくなった。最近では紀淡海峡や鳴門海峡周辺、播磨灘で越冬個体群が確認されているが、個体数が少なく存続基盤が脆弱なため、Cランクへ変更した。

保護上の留意点

藻場の再生を含め、生息海域の海洋環境の保全が重要。また、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

72 カンムリウミスズメ (チドリ目)

Synthliboramphus wumizusume

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

◎天然記念物

環境省ランク: VU

種の概要

本州西部、四国、九州近海の離島、伊豆諸島沖、朝鮮半島南部などで繁殖し、繁殖後も多くは繁殖地周辺の海域に生息するが、一部は北海道南東部・西部から沖縄周辺の海域に渡り、越冬する。海上に生息し、主に魚類を捕食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、天売島、本州、飛島、神子元島、舳倉島、七ツ島、耳穴島、沓島、隠岐、竹島、見島、四国、権投島、ナザノハナ、サデバ、津島、幸島、二並島、九州、対馬、壱岐、小屋島、烏帽子島、男女群島、枇榔島、甌島諸島、宇治群島、伊豆諸島、奄美大島、琉球諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

明石市、★洲本市、★南あわじ市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。

県内では1-3月に記録がある。古くは1929年3月明石沖の1羽が公表されているだけで、生息状況はわかっていなかった。最近、淡路島近海で時々観察報告があるため、要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

藻場の再生を含め、生息海域の海洋環境の保全が重要。また、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

73 アビ

(アビ目)

Gavia stellata

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、オホーツク海沿岸、カムチャツカ、千島列島、サハリン、アラスカ、カナダ北部、グリーンランドなどで繁殖する。繁殖後は温帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州の沿岸海域などで越冬する。外海や内海に生息し、稀に内湾、河口などで見られる。潜水して魚類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、佐渡、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、奄美諸島、沖縄諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海



写真提供：松重和太

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、加古川市、高砂市、南あわじ市、淡路市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○								

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌3月に記録がある。かつては個体数は少ないものの瀬戸内海に稀ではなかった。特に明石沖や加古川沖での記録が多い。近年は姫路市や西宮市、洲本市、南あわじ市の海岸近くでそれぞれ1羽程度が記録されている。海上での調査がされていないため、公表された記録は少なく、最近の記録は見当たらない。重油や化学物質の流出による被害で、海上の群れが大きな打撃を受けることがある。

保護上の留意点

生息海域の海洋環境の保全が重要。また、漁網やはえ縄などによる捕獲の被害に遭うことがあるので、地域によっては漁業者との調整が必要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

74 オオハム

(アビ目)

Gavia arctica

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ中部からシベリア、モンゴル北部、オホーツク海沿岸、カムチャツカ、アラスカ西部などの北極から温帯北部で繁殖する。繁殖後は温帯の海域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州の沿岸海域などで越冬する。外海や内海に生息し、稀に内湾、河口、沿岸近くの湖沼などにも飛来する。潜水して魚類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、男女群島、伊豆諸島、奄美諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★尼崎市、明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、高砂市、★南あわじ市、★淡路市、たつの市、★稲美町、★播磨町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 ら息 環・ 境	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○								

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌5月に記録がある。かつては瀬戸内海では10羽から70羽前後の越冬群が普通に見られていた。1970年台には越冬例も記録されている。しかし、近年は減少著しく、最近では単独の個体が瀬戸内海や日本海の沿岸で稀に観察される程度である。海上での生息状況はよくわかっていない。重油や化学物質の流出による被害で、海上の群れが大きな打撃を受けることがある。

保護上の留意点

生息海域の海洋環境の保全が重要。また、漁網やはえ縄などによる捕獲の被害に遭うことがあるので、地域によっては漁業者との調整が必要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

75 シロエリオオハム (アビ目)

Gavia pacifica

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

シベリア北東部からアラスカ、カナダなどで繁殖する。繁殖後は太平洋の両岸に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州の沿岸海域などで越冬する。外海や内海に生息し、稀に内湾、河口、沿岸近くの湖沼などにも飛来する。潜水して魚類を採食する。瀬戸内海の一部の島で行われている鳥持網代漁(アビ漁)では、本種がよく利用されている。



写真提供: 出口敦司

(性別: 不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、明石市、西宮市、★洲本市、★豊岡市、加古川市、高砂市、丹波市、★南あわじ市、★淡路市

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性の 低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○								

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に1-翌6月に記録がある。古い記録は、全てオオハムとされているため、正確な生息状況は不明であるが、残された標本から、オオハムよりシロエリオオハムの方が多かったと考えられている。近年は極めて稀に沿岸で記録される程度に過ぎない。海上での生息状況は不明である。重油や化学物質の流出による被害で、海上の群れが大きな打撃を受けることがある。

保護上の留意点

生息海域の海洋環境の保全が重要。また、漁網やはえ縄などによる捕獲の被害に遭うことがあるので、地域によっては漁業者との調整が必要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

76 コウノトリ

(コウノトリ目)

兵庫県ランク: A

Ciconia boyciana

繁殖個体群:A 越冬個体群:B 通過個体群:B

◎国内希少野生動植物種 ◎特別天然記念物

環境省ランク: CR

種の概要

江戸時代までは日本各地に生息し繁殖していた。明治以降減少し、最後に残った兵庫県但馬地方、福井県若狭地方でも1971年に絶滅した。しかし、現在でも秋冬期に大陸から渡来する個体が稀に見られる。多くは春に大陸に戻るが、周年滞在することもある。水田や河川、湖沼、山林を含む田園環境に飛来・生息し、魚類、両生類、甲殻類などを好んで採食する。2005年から、兵庫県では大陸系統の増殖個体による野生復帰を実施し、野外個体群が成立しつつある。

国内分布

北海道、礼文島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、奄美諸島、琉球諸島、

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

◎放鳥個体確認市町を列記 下線表記は野生個体確認市町

★神戸市、姫路市、明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、宍粟市、加東市、★たつの市、猪名川町、多可町、★神河町、上郡町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県のコウノトリ野生復帰事業により再導入された個体が、但馬地域および京都府京丹後市を中心に周年生息し繁殖している。また、大陸からの飛来個体も極めて稀に記録されることがある。

保護上の留意点

再導入個体および大陸からの飛来個体の定着を図るためには、その主な生息地である田園生態系(田圃、水路、河川、草地)の保全・再生の推進が必要。



写真提供：コウノトリの郷公園

(性別：不明)



写真提供：コウノトリの郷公園

(性別：不明)



写真提供：コウノトリの郷公園

(性別：不明)



写真提供：梅津節雄 (性別：不明)

77 ヒメウ

(カツオドリ目)

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

Urile pelagicus

環境省ランク: EN

種の概要

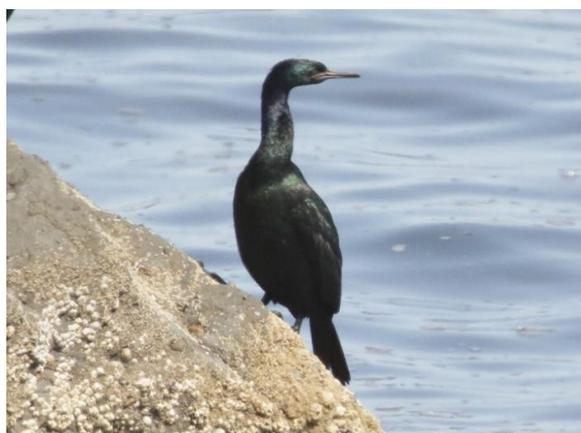
シベリア北東部から千島列島、サハリン、日本、オホーツク海、ベーリング海、アラスカ、カリフォルニアまでの北極から亜熱帯の北太平洋沿岸で繁殖し、繁殖後は温帯の海域に渡り、越冬する。日本では北海道、本州北部などの離島などで繁殖し、北海道、本州、四国、九州などの近海で越冬する。海上や岩礁、沿岸に生息し、潜水して主に魚類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、モユルリ島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★洲本市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★南あわじ市、★淡路市、香美町、新温泉町



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね 特殊 ら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
						○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌5月に生息する。かつては数羽から50羽前後の群れが普通に記録されていた。近年は単独か数羽の記録がほとんどであるが、淡路島南端の沼島ではウミウとともに集団越冬する大きな群れが見られる。重油や化学物質の流出による被害で、海上や沿岸の群れが大きな打撃を受けることがある。

保護上の留意点

本種の生息環境である海岸の保全が必要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

78 ヘラサギ

(ペリカン目)

Platalea leucorodia

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: DD

種の概要

ヨーロッパ、中国北部、インド、アフリカ北部沿岸などで繁殖し、繁殖後は熱帯アフリカ、ペルシャ湾、南アジア、中国東部などに渡り、越冬する。日本では、古くから全国的に記録がある。近年は不定期な渡来となっているが、本州南西部、四国、九州では越冬するところがある。広い河川の浅瀬や池沼、水田、湿地、干潟に生息し、魚類やカエル類、甲殻類など、水中の小動物を捕食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、利尻島、天売島、南千島、本州北・中部、佐渡、本州南西部、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、三木市、三田市、★加西市、南あわじ市、★淡路市、★稲美町、★播磨町、★太子町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクからCランクに変更。

県内では渡来時期は不規則だが、主に11-翌5月に記録がある。近年は記録がやや増加傾向にある。最近では、ほぼ定期的に少数が渡来し越冬するようになっているが、生息地が極めて限られ、その存続基盤が危ぶまれるため、Cランクに変更した。

保護上の留意点

本種の主な生息環境である干潟、湿地、水田、ため池などの保全が必要。特に、既知の越冬地の生息環境の保全は極めて重要。

79 クロツラヘラサギ (ペリカン目)

Platalea minor

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: EN

種の概要

ロシア北東部から中国北東部、朝鮮半島などで繁殖し、繁殖後は中国南部からベトナム、台湾、日本などに渡り、越冬する。日本では全国的に広く記録はあるが、何れも不定期な渡来で、個体数も極めて少ない。広い河川の浅瀬や池沼、水田、湿地、干潟に生息し、魚類や甲殻類、水生昆虫類などを捕食する。

国内分布

北海道、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★明石市、★豊岡市、加古川市、高砂市、★稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクからCランクに変更。

県内で公表されている記録はごくわずかで、古い記録はない。2000年代から不定期に渡来するようになった。最近では、ほぼ定期的に少数が渡来し、越冬している。生息地が極めて限られ、その存続基盤が危ぶまれるため、Cランクに変更した。

保護上の留意点

本種の主な生息環境である干潟、湿地、水田、ため池などの保全が必要。特に、既知の越冬地の生息環境の保全は極めて重要。



写真提供：友田達也

(性別：不明)



写真提供：友田達也

(性別：不明)



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

80 サンカノゴイ

(ペリカン目)

兵庫県ランク: A

Botaurus stellaris

繁殖個体群:無 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク: EN

種の概要

ヨーロッパから東アジア、南アフリカなどで繁殖し、繁殖後はヨーロッパからアジア、アフリカ中・東部の温帯から熱帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、全国各地で越冬する。また、北海道や千葉県、茨城県では局地的に少数が繁殖する。繁殖地周辺には周年生息する。広いヨシ原に生息し、主に早朝や夜間に魚類やカエル類などの小動物を捕食する。国内における生息数は極めて少ない。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、壱岐、福岡沖ノ島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、★明石市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、南あわじ市、加東市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌5月に記録がある。かつては瀬戸内の海岸や河口、池沼の広大なヨシ原に生息していた。多くは稀な冬鳥と考えられるが、1967年に加古川市尾上で、1976年には姫路市大塩で繁殖期に複数個体が観察されている。開発で生息環境が消滅するとともに姿を消し、現在では円山川周辺や県南部のヨシ原で稀に観察される程度である。

保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原や湿地を必要とするため、それらの環境の保全及び再生が必要。また、減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。

81 ヨシゴイ

(ペリカン目)

兵庫県ランク: A

Ixobrychus sinensis

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: NT

種の概要

アラビア半島東端からアジア南部、ミクロネシア西部、ロシア南東部、中国東南部、日本などで繁殖し、繁殖後は南方に渡り、越冬する。日本では北海道、本州、四国、九州で繁殖する。多くは繁殖後南方に渡るが、一部は沖縄で越冬する。ヨシ原、沼沢地、水田などに生息し、小魚類やカエル類、エビ類などの水辺の小動物を捕食する。主にヨシ、ガマなどが密生する茂みの中に営巣する。



写真提供：北野光良

(性別：オス)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甌島列島、草垣群島、上三島諸島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、三木市、高砂市、南あわじ市、★淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、稲美町、播磨町



写真提供：森田俊司

(性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-11月に生息する。かつては県内各地の海岸や河口、池沼のヨシ原で広く繁殖していた。近年は生息地の多くが失われたため急減している。現在は、確実に繁殖している場所は極めて少なくなっている。通過個体を含め、個体数は少ない。

保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原、湿地やため池を必要とするため、それらの環境の保全及び再生が必要。また、減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。

82 オオヨシゴイ

(ペリカン目)

Ixobrychus eurhythmus

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク: CR

種の概要

シベリア南東部から中国東部、朝鮮半島、日本北部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では、北海道から本州北・中部で繁殖する例がある。春秋の渡りの時期には不定期に全国各地を通過するが、記録は極めて少ない。ヨシ原や草原に生息し、小魚類やカエル類、エビ類などを捕食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、本州北・中部、佐渡、舩倉島、隠岐、本州南西部、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、伊丹市、三木市、朝来市、加東市、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○		○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内で公にされている記録は少ないが、主に5月と9-10月に記録がある文献上は、1932年10月明石市土山が最初で、1992年5月の三木市細川町脇川での記録が最後となっている。観察が難しいこともあり、記録個体数は極めて少なく、ほぼ迷行に近い状態となっている。

保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原、湿地やため池を必要とするため、それらの環境の保全及び再生が必要。また、減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。

83 ミゾゴイ

(ペリカン目)

兵庫県ランク: A

Gorsachius goisagi

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: VU

種の概要

日本の本州、四国、九州、朝鮮半島南西の済州島で繁殖し、繁殖後は沖縄、台湾、中国南部、フィリピンなどに渡り、越冬する。低山地の、昼でも薄暗い、沢のある広葉樹林に生息し、単独で繁殖する。沢沿いを中心に、サワガニやカエル類、昆虫類、ミズ類などを捕食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、松前小島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、西宮市、洲本市、芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★宝塚市、★三木市、三田市、丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、★朝来市、★淡路市、宍粟市、たつの市、★猪名川町、★神河町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に生息し繁殖する。かつては県内の山林の広い範囲に生息していたと考えられるが、1990年代に急減している。2000年頃より県内での観察記録は増えているようであるが、確実な繁殖記録は極めて少ない。

保護上の留意点

本種の営巣や採食の場所となる、山地林や里山の雑木林の保全が必要。

84 ササゴイ

(ペリカン目)

兵庫県ランク: C

Butorides striata

繁殖個体群:C 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部、中国東部、朝鮮半島、日本、アジア南部、オーストラリア、ポリネシア、西アフリカの熱帯域、南アメリカなどに繁殖分布し、北方のものは繁殖後暖かい地方に渡る。日本では本州、四国、九州で繁殖する。繁殖後は南方に渡るが、一部は沖縄で越冬する。平地の河川や池沼に生息し、小魚やカエル類、エビ類、昆虫類など水辺の小動物を食べる。河畔林や社寺林などの大木に集団で営巣する。

国内分布

北海道、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、豊岡市、★加古川市、★赤穂市、西脇市、★宝塚市、三木市、★高砂市、川西市、小野市、★三田市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、★加東市、★たつの市、★稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○			○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-11月に生息し繁殖する。古くは神戸市の湊川神社や花隈神社のイチョウの大木、阪神間や播磨町の松林で多数繁殖していたが、営巣木が失われ急減した。最近では、河川敷や堤防などの小高木で単独や少数集団の営巣が見られる程度である。

保護上の留意点

生息環境である田圃、湖沼、河原、河口などの保全と営巣地となる海岸林や近くの松林、河川堤防や河川敷の林や小高木の保全が必要。

85 チュウサギ

(ペリカン目)

兵庫県ランク: C

Ardea intermedia

繁殖個体群:C 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク: NT

種の概要

中国西・南部から日本、アジア南部、オーストラリアなどの温帯から熱帯に繁殖分布する。北方のものは繁殖後は暖かい地方に渡る。日本では本州、四国、九州で繁殖する。繁殖後は南方に渡る。九州の一部と沖縄では越冬する。河川や沼沢地、農耕地などに生息し、水辺近くの森や藪をねぐらとする。小魚類やカエル類、エビ類、昆虫類などの水辺の小動物を捕食する。他のサギ類と樹上で集団営巣する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、★宝塚市、三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、多可町、★稲美町、上郡町、★佐用町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○		○			○				

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-11月に生息し繁殖する。かつては県内各地に広く生息し、コサギより多い個体数が観察され、越冬個体も少なくなかった。繁殖地も各地に存在したが、近年、特に県南部で減少傾向が著しい。サギ類のコロニーが近隣住民から敬遠されること、主な繁殖場所の一つである河川中州の木立や河畔林が河川改修で消滅するなど、その生息環境は危険な状況に

保護上の留意点

営巣地となる河畔林、採餌地となるハス田、ため池などの保全が必要。

86 クロサギ

(ペリカン目)

兵庫県ランク: B

Egretta sacra

繁殖個体群:B 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

中国南東部から日本の本州以南、アジア南部、オーストラリア北部、ミクロネシア、ニュージーランド、ポリネシアなどの沿岸部に広く繁殖分布する。日本では本州、四国、九州、沖縄で繁殖し、繁殖後も繁殖地周辺に生息する。岩場の多い海岸に生息し、岩礁周辺で魚類やカニ類などの小動物を捕食する。干潟や海岸に近い湿地にも飛来することもある。海岸の岩場や樹上に営巣する。



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

国内分布

北海道、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、七ツ島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、西宮市、★洲本市、相生市、★豊岡市、高砂市、★南あわじ市、★淡路市、播磨町、★香美町、★新温泉町



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○		○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年生息し繁殖するが、生息密度はもともと低い。瀬戸内側より日本海側で記録されることが多い。但馬海岸、家島群島、淡路島の海岸などで少数が繁殖している。

保護上の留意点

本種の生息環境である海岸の保全が必要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。

87 カラシラサギ

(ペリカン目)

Egretta eulophotes

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク: NT

種の概要

シベリア東部から中国東部、朝鮮半島、台湾などで繁殖し、繁殖後は東南アジアに渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に少数が北海道、本州、四国、九州に渡来する。河川の浅瀬や池沼、湿地、水田などに生息し、魚類やエビ類、カエル類などの水辺の小動物を捕食する。



写真提供：尾崎由紀

(性別：不明)

国内分布

北海道、利尻島、本州北・中部、飛島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★高砂市、加東市、稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 息環 境・	局地的 繁殖	希少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に6-7月と9月に記録がある。公表されている記録は極めて少ない。最も古い記録は1982年9月姫路市の市川河口での1羽である。その後の記録もわずかではあるが、最近、観察例がやや増えている傾向にあり、今後の動向が注目される。

保護上の留意点

県内では既知の情報が少ないため、最近生息が確認されている地域の水辺環境の現況調査が必要。

88 ミサゴ

(タカ目)

兵庫県ランク: B

Pandion haliaetus

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: NT

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、中国東部、日本(九州以北)、フィリピン、オーストラリア、北アメリカなどに繁殖分布する。北方のものは繁殖後は温帯から熱帯域に渡る。海岸、大河川、湖沼などに生息し、断崖のある海岸や森林の大木などで繁殖する。主に魚類を、水面に急降下して捕食する。一時期、魚類の農薬汚染などで繁殖成功率が大きく低下したと考えられているが、最近はやや回復している。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、北硫黄島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島



写真提供：三谷康則

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、川西市、★小野市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、猪名川町、多可町、★稲美町、福崎町、★神河町、太子町、★佐用町、★香美町、★新温泉町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

AランクからBランクへ変更。
かつては県内各地に周年生息し繁殖していたが、開発に伴い営巣地の多くが消滅し、個体数が激減した。近年は水辺の崖地や森林の樹上だけではなく、高圧鉄塔の上部で繁殖する個体も出現するようになった。最近では個体数がやや回復しているため、Bランクに変更した。

保護上の留意点

新規の営巣場所となっている高圧鉄塔上など、人工構造物での営巣環境の保全および繁殖期における営巣地周辺での釣りなどの規制が重要。

89 ハチクマ

(タカ目)

兵庫県ランク: B

Pernis ptilorhynchus

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: NT

種の概要

シベリア南東部から中国北東部、朝鮮半島、日本(九州以北)、台湾、アジア南部などで繁殖する。北方のものは、繁殖後は亜熱帯から熱帯域に渡り、越冬する。丘陵から低山の森林に生息し、落葉広葉樹やアカマツなどに営巣する。好物は地中のクロスズメバチだが、その他の昆虫類やカエル類、ネズミ類なども捕食する。春秋の渡りの季節には大群となることが知られている。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、西脇市、★宝塚市、★三木市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、福崎町、★神河町、太子町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら・休息環境	局地的繁殖	希少
	○				○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では3-11月に生息し繁殖するが、繁殖確認例は少ない。渡りの時期には、単独-数羽から数10羽の群れが県内を通過する。大群の例としては、1976年5月に氷ノ山で4群150羽、1983年に書写山で218羽の記録が残されているが、近年は大きな群れはあまり見られない。

保護上の留意点

営巣地の保全および営巣地周辺への入山規制が重要。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)



写真提供：梅津節雄

(性別：メス)

90 クマタカ

(タカ目)

Nisaetus nipalensis

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

◎国内希少野生動植物種

環境省ランク: EN

種の概要

ヒマラヤからマレー半島、中国南部、台湾、日本などの温帯から熱帯域に繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に繁殖分布する。山間の森林に生息し、森林内の大木に営巣する。森林内に生息する小型-中型の鳥類、哺乳類などを捕食する。繁殖後もあまり移動しない。

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、対馬、壱岐



写真提供: 梅津節雄

(性別: オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★豊岡市、西脇市、宝塚市、三木市、川西市、小野市、加西市、丹波篠山市、★養父市、丹波市、★朝来市、淡路市、★宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、★神河町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○		○



写真提供: 梅津節雄

(性別: オス(左)、メス(右))

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では局地的ではあるが、周年生息し繁殖する。かつては県内各地の山麓から山地に広く生息していたが、開発の時代に多くの生息地が失われた。近年では一定の保全措置がとられているが、開発後に人の出入りが増えることで繁殖しなくなる例が少なくない。また、環境汚染物質の蓄積などによる繁殖成功率の低下が懸念されている。

保護上の留意点

営巣が確認されている場所および繁殖期に生息が確認されている場所では、極力森林を保全し広く残すことが重要で、繁殖期には入山規制も必要。



写真提供: 梅津節雄

(性別: 不明)

91 イヌワシ

(タカ目)

兵庫県ランク: A

Aquila chrysaetos

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

◎国内希少野生動植物種 ◎天然記念物

環境省ランク: EN

種の概要

アフリカ北西部からヨーロッパ、中央アジア、中国北部、朝鮮半島、日本、北アメリカなどに繁殖分布する。日本では、主に本州に繁殖分布する。北海道、四国、九州でも記録されているが、四国では迷行的渡来、九州ではほぼ消滅状態にある。深い山地に生息し、岩棚や高木の枝上に営巣する。秋冬には丘陵地や平地、海岸にも飛来することがある。ノウサギやヤマドリ、大型のヘビ類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、対馬、壱岐



写真提供：三谷康則

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、西宮市、豊岡市、宝塚市、★養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、多可町、神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では局地的ではあるが周年生息し繁殖する。かつては山地に広く分布していたが、開発の時代に急減した。1970年頃にはまだ20羽程が生息していたが、1980年以降の繁殖状況が非常に悪くなり、1990年には但馬地域で2巣分の雛2羽が確認されたにすぎない。最近では、2004年に美方郡で繁殖が確認されて以降繁殖記録はなかったが、2023年に20年ぶりの繁殖及び巣立ちが確認された。

保護上の留意点

営巣地周辺での厳しい開発規制と入山規制および餌場を確保するための植林地の定期的な伐採が重要。さらに本種の回復のためには、かつての繁殖地の営巣場所周辺の保全・再生も重要。

種の概要

シベリア南東部からサハリン、中国北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖し、繁殖後は中国南部、台湾、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖するが、一部は繁殖後南方に渡る。平地から山地の森林に生息し、林内の枝上に営巣する。近年、関東では都市林で営巣する例が確認されている。主にスズメなどの小型鳥類や小型哺乳類、昆虫類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、沖縄諸島、大東諸島



写真提供：北野光良

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、★西宮市、洲本市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★川西市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、養父市、★丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、加東市、たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★神河町、上郡町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○		○			○	○		○	



写真提供：北野光良

(性別：メス)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年生息し繁殖する。一年を通して記録されるが、春秋の渡りの時期に見られることが多い。県中部の山林で繁殖例があるが、繁殖記録は極めて少ない。近年の開発により個体数が減少したが、最近では都市緑地でも観察されている。

保護上の留意点

営巣地の保全および営巣地周辺への入山規制が必要。

93 ハイタカ

(タカ目)

兵庫県ランク: C

Accipiter nisus

繁殖個体群:注 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: NT

種の概要

アフリカ北西部、ヨーロッパ、中央アジア、中国西部、シベリア南部、サハリン、朝鮮半島、日本などで繁殖する。北方のものは繁殖後は暖かい地方に渡り、越冬する。日本では北海道と本州で繁殖し、一部は繁殖後も繁殖地周辺に生息するが、多くは南方に渡り、越冬する。山地の森林に生息し繁殖する。冬期は平地から山地の林や農耕地、時には市街地にも飛来する。主に小型の鳥類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、見島、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、男女群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★市川町、★福崎町、★神河町、★太子町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
						○		○	

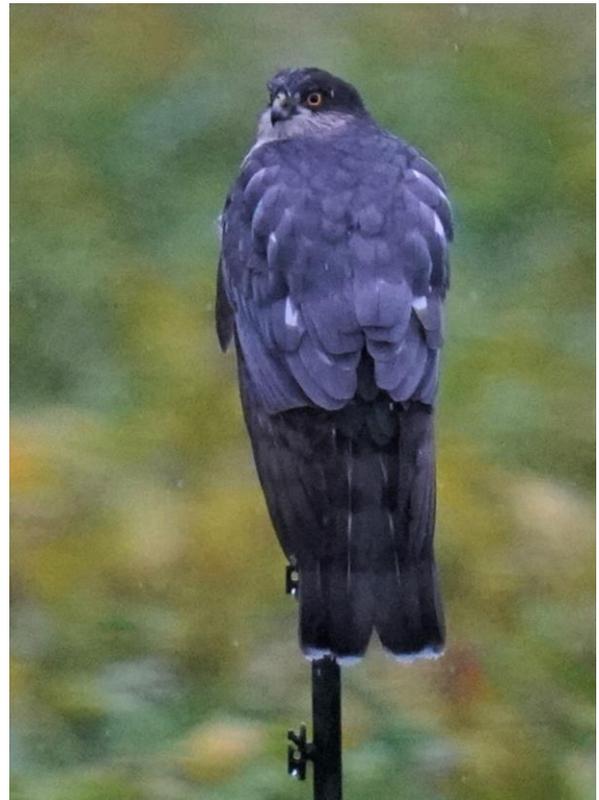
県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息する。夏期にも見られることから繁殖の可能性は高いが、巣や幼鳥は確認されていない。冬期には県内のほぼ全域で見られるが、もともと個体数は少ない。一時期、減少したが、最近では、都市部でも見られるなど、個体数はやや回復している。

保護上の留意点

営巣地の保全および営巣地周辺への入山規制が必要。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)



写真提供：梅津節雄

(性別：メス)

94 オオタカ

(タカ目)

Accipiter gentilis

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: NT

種の概要

ヨーロッパからシベリア、中央アジア、中国、日本などの温帯に繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国及び九州の一部で繁殖し、多くは繁殖後も繁殖地周辺に生息するが、一部は南方に渡り、越冬する。丘陵から山地の林で繁殖し、秋から冬には平地の農耕地や河畔林、都市林にも飛来する。林縁部や水際で小型-中型の鳥類を捕食する。一時期、減少したが、最近はやや個体数が回復している。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、西脇市、★宝塚市、★三木市、高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、加東市、たつの市、★猪名川町、多可町、★稲美町、福崎町、★神河町、★太子町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
		○			○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息し繁殖する。かつては県内各地で広く見られ、繁殖していたが、開発の時代に多くの繁殖地が失われ、個体数が急減した。近年、新たに都市緑地の自然再生林などでも繁殖する個体が現れ、個体数はやや回復していると考えられる。

保護上の留意点

営巣地の保全および営巣地周辺への入山規制が必要。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)



写真提供：梅津節雄

(性別：メス)

95 チュウヒ

(タカ目)

Circus spilonotus

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク: EN

種の概要

シベリア中部から中国北東部、日本北部などで繁殖し、北方のものは繁殖後アジア東部の温帯から熱帯域に渡り、越冬する。日本では主に北海道で繁殖し、本州以南で越冬するが、本州の一部では周年生息し繁殖するところがある。湿原や広いヨシ原、草原、農耕地に生息する。低空飛行で獲物を探し、小型鳥類や小動物、魚類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、舩倉島、佐渡、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、宇治群島、上三島諸島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、西宮市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★宝塚市、三木市、高砂市、加西市、★丹波市、★南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、稲美町、太子町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に生息する。個体数は少ないものの、かつては周年生息していた。営巣が確認されていたのは赤穂市だけだが、複数個体の記録がある加古川市や姫路市、豊岡市などでは繁殖していたと考えられている。近年は開発により広大なヨシ原が消滅したため繁殖記録はなく、冬期に渡来する少数の個体が観察される程度になっている。

保護上の留意点

広い面積のヨシ原の保全および積極的な再生が重要。



写真提供：北野光良

(性別：不明)



写真提供：友田達也

(性別：メス)



写真提供：友田達也

(性別：メス)

96 ハイイロチュウヒ (タカ目)

Circus cyaneus

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパからアジア中・北部などで繁殖し、繁殖後はアジア南部から中国南部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では北海道から沖縄まで広く記録がある。平地の広い草原や湿地、ヨシ原に生息し、両生類、爬虫類、鳥類、小型哺乳類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甌島列島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、明石市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、小野市、三田市、加西市、養父市、★丹波市、★南あわじ市、朝来市、加東市、稲美町、福崎町、★香美町



写真提供：梅津節雄

(性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌3月に記録がある。かつては県内の海岸沿いで、数は少ないが記録されていた。開発で生息環境が失われ、瀬戸内側では一時記録が減ったが、最近、埋立地に生じた草原で比較的多く記録がでている。

保護上の留意点

餌場となる広大な田畑や草地の保全が重要。

97 オジロワシ

(タカ目)

兵庫県ランク: B

Haliaeetus albicilla

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

◎国内希少野生動植物種 ◎天然記念物

環境省ランク: VU

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、中央アジア、中国北東部、日本北部、グリーンランド南西部などで繁殖し、繁殖後は西アジアから南アジア北部、中国、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では北海道北・東・中部で繁殖し、繁殖後一部は繁殖地周辺に生息するが、多くは北海道南部、本州、四国、九州などで越冬する。海岸、広い河川、湖沼に生息する。魚類や水鳥類を捕食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、舩倉島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、三木市、小野市、★稲美町、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性の 低下	特殊 競争圧	特殊 捕食圧	特殊 繁殖環境	特殊 採餌環境	ねぐら 特殊休息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では11-翌4月と7-8月に、ごく稀に記録がある。主に瀬戸内海沿岸または日本海沿岸で記録されるが、かつては小野市鴨池などの内陸の池沼でも観察されている。記録は全て単独個体で、観察例も極めて少ない。

保護上の留意点

魚類や水鳥類が多く生息する水域の保全および再生が重要。既知の越冬地では餌場やねぐら、昼間の休息場を把握し、その保護に努めることが必要。

98 サシバ

(タカ目)

Butastur indicus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

シベリア東部から中国北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では春に本州、四国、九州に渡来し繁殖する。繁殖を終えると南方に渡る。一部は沖縄で越冬する。丘陵から山間の森や水田近くの雑木林に生息する。林の樹梢に営巣し、水田などでヘビ類やカエル類などを捕食する。秋には群れをなして上空を通過する。

国内分布

北海道、本州、飛島、粟島、舳倉島、佐渡、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、★洲本市、芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、三木市、★川西市、小野市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、★神河町、太子町、上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし

県内では主に3-10月に生息し繁殖する。かつてはタカ類中ではトビに次いで数の多い鳥で、各地で繁殖していた。秋の渡りの時期には、山間部で大きな群れが見られる。近年は県中・南部で営巣地が急激に失われ、繁殖個体群は個体数、分布域ともに減少した。

保護上の留意点

里山や水田周辺などで生物相が豊かな自然環境を保全・再生することが重要。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)



写真提供：梅津節雄

(性別：メス)

99 ケアシノスリ

(タカ目)

Buteo lagopus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

スカンジナビア半島からシベリア、千島列島、アリューシャン列島、北アメリカ北部などで繁殖し、繁殖後はヨーロッパ中部から中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では主に北海道と本州北部で越冬するが、本州中・南部以南にも不定期に渡来する。主に海岸沿いの草地に生息し、ネズミ類やノウサギ、小型-中型の鳥類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、五島列島、屋久島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、★尼崎市、西宮市、★豊岡市、赤穂市、西脇市、川西市、養父市、宍粟市、加東市、たつの市、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境	局地的繁殖	希少
							○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では12-翌4月に記録がある。古い記録は見当たらない。県内では1976年3月西脇市の記録が最初で、その後、県中・北部で記録されるようになった。最近では、県北部の円山川沿いや県南部の沿岸、埋立地などでよく記録されているが、個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

餌場となる広大な田畑や草地の保全が重要。



写真提供：友田達也

(性別：不明)

※幼鳥



写真提供：友田達也

(性別：不明)

※幼鳥



写真提供：友田達也

(性別：不明)

※幼鳥

100 ノスリ

(タカ目)

兵庫県ランク: B

Buteo japonicus

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア南部から中国北東部、サハリン、日本などで繁殖し、繁殖後は北方のものは温帯域に渡る。日本では北海道と本州で繁殖するが、四国、九州でも一部繁殖するところがある。一部は繁殖後も繁殖地周辺に生息するが、多くは南方に渡り、越冬する。平地、丘陵地から山地の林に生息する。山間から平地の農耕地や牧場、池沼、河原などの草原でネズミ類、ヘビ類、小型鳥類、昆虫類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、男女群島、五島列島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★福崎町、★神河町、★太子町、★佐用町、★香美町、★新温泉町



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら環境・休息	局地的繁殖	希少
					○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年生息し繁殖する。冬期には県内で広く記録されているが、近年、減少傾向にある。繁殖期にも記録はあるが、個体数は少なく、確実な営巣記録は限られている。六甲山地で繁殖している可能性がある。

保護上の留意点

営巣が確認されている場所および繁殖期に生息が確認されている場所では、極力森林を保全し広く残すことが重要。

101 アオバズク

(フクロウ目)

Ninox japonica

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部から中国北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖する。北方のものは繁殖後熱帯域に渡る。日本では、北海道から九州には春に渡来し繁殖するが、沖縄には周年生息し繁殖する。平地から山地の林に生息し、樹洞などに営巣する。営巣できる環境があれば、市街地の社叢林や屋敷林でも繁殖し、巣箱も利用する。昼間は茂った枝葉の中で休み、夜間に主に昆虫類や小型の哺乳類、小鳥類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、八重山諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、加古川市、★宝塚市、三木市、★川西市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、★淡路市、宍粟市、加東市、★たつの市、猪名川町、★神河町、上郡町、★香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○					○	○	○	○	



写真提供：梅津節雄

(性別：メス)

※幼鳥(右)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-11月に生息し繁殖する。かつては県内各地に普通に生息していたが、近年はその声が聞かれなくなっている。個体数は多くないが、最近、やや回復傾向にある。

保護上の留意点

営巣場所となる大木の樹洞が少なく、社寺林などで局地的に繁殖するため、従来の営巣地に巣箱を架設するなど、積極的な繁殖環境整備や、社寺林の保全が重要。

102 コノハズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク: A

Otus sunia

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク:

種の概要

南アジア南部からインドシナ半島、中国、シベリア南東部、朝鮮半島北部、サハリン、日本などで繁殖する。北方のものは、繁殖後は南アジアから東南アジアに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州、四国、九州で繁殖する。よく茂った広葉樹の原生林に生息し、樹洞に営巣する。主に林内で昆虫類を捕食する。渡りの時期には平地の農耕地やヨシ原などにも飛来することがある。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、草垣群島、宇治群島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、琉球諸島



写真提供：丹羽英之

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、豊岡市、加古川市、三木市、高砂市、養父市、南あわじ市、宍粟市、播磨町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-11月に記録がある。但馬地域の標高800m以上の森林では繁殖期に鳴き声がよく聞かれており、1989年には抱卵中の巣が確認されていた。近年の森林開発により繁殖地の多くが失われ急減している。個体数は極めて少ない。春秋の渡りの時期には、都市近郊も通過するが、事故例も少くない。

保護上の留意点

県北部の亜高山地域に限定して分布しており、生息地である氷ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園の保全が本種の保護に直結する。

103 オオコノハズク (フクロウ目)

Otus semitorques

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:調 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部から中国北東部、朝鮮半島、千島列島、日本などで繁殖する。繁殖後も多くは繁殖地周辺に生息するが、北方のものは南方に渡り、越冬する。日本では北海道から沖縄の全域に繁殖分布する。平地から山間の比較的発達した広葉樹林内に生息し、樹洞に営巣する。昼間は大木の洞や大木の横枝にとまって休み、夜間活動して小型の哺乳類や小鳥類、昆虫類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島



写真提供：松重和太

(性別：不明)

※渡りの途中

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、宝塚市、丹波篠山市、★丹波市、南あわじ市、猪名川町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に記録がある。古い記録では県内に広く生息し、神戸市内では例年繁殖していたとされる。近年では繁殖期の観察記録はない。観察し難い上に夜行性のため記録は極めて少ない。

保護上の留意点

山麓から山間の大木の残る発達した森林環境を広く保全することが必要。近年の生息実態が不明なため、過去に記録のある森林はできる限り残すことが重要。

104 トラフズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク: B

Asio otus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北アフリカからヨーロッパ、アジア、カナダ西部からメキシコ北部などで繁殖する。繁殖後は、一部は繁殖地周辺に生息するが、多くは温帯域に渡る。日本では北海道と本州北部で繁殖し、本州中部以南で越冬する。平地から低山がよく繁った林に生息する。冬は単独か小群で山麓の森や広い農耕地、河川敷の藪、竹林などで休み、夜になると農耕地でネズミ類やモグラ類、小鳥類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、高砂市、小野市、丹波篠山市、加東市、たつの市、播磨町



写真提供：北野光良 (性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		○



写真提供：友田達也 (性別：不明)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌3月に生息する。夜行性で観察が難しいため、記録は少ない。県内には繁殖記録はないが、1979年6月には小野市青野ヶ原で2羽が記録されている。現在は主に冬に北方からの移動個体が渡来するが、個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

河川敷周辺の採餌環境となる草地とともに、ねぐらとなる河畔林の保全が重要。

105 コミミズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク: B

Asio flammeus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパから中央アジア、シベリア、北アメリカ中・北部、南アメリカ南部などで繁殖し、北方のものは繁殖後は温帯から熱帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、全国各地で越冬する。河川敷、湿原、農耕地、埋立地などの開けた環境に生息する。昼間は草むらの地上で休み、夕方から夜間にネズミ類やモグラ類、コウモリ類、小鳥類などを捕食する。



写真提供：友田達也

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、草垣群島、伊豆諸島、小笠原群島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、小野市、南あわじ市、朝来市、★淡路市、加東市、香美町



写真提供：友田達也

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-翌4月に生息する。かつては県内各地で単独または数羽の群れが普通に見られた。近年の開発で生息地が減るとともに急減した。現在では個体数は極めて少なく、生息地も非常に限られている。

保護上の留意点

採餌場所である農耕地周辺、河川敷など、餌となるネズミ類が豊富な広いヨシなどの高茎草地を保全することが重要。

106 ヤツガシラ

(サイチョウ目)

兵庫県ランク: 注

Upupa epops

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ南西部からアジアの中・南部、アフリカなどで繁殖する。北方のものは繁殖後は熱帯域に渡り、越冬する。日本には主に春秋の渡りの時期に渡来するが、繁殖また越冬の記録もある。平地の開けた草地や農耕地に生息し、昆虫類やクモ類、ミズ類などの地上の小動物を採食する。



写真提供：鳥田陽子 (性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、福岡沖ノ島、筑前大島、小呂島、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、芦屋市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、高砂市、★川西市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、稲美町、香美町



写真提供：出口敦司 (性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。
県内ではほぼ一年を通して記録がある。1960年以前の記録はなく、1970年代に豊岡市で記録されるようになった。1980年代には県南部も含めて時々記録されている。1990年代以降、やや観察例が増える傾向にあるが、何れも単独であり、個体数は極めて少ない。最近、稀に越冬個体の観察記録があり、今後の動向に注目する必要があるため、要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

県内で生息が確認されている地域の現況調査が必要。

107 ブッポウソウ

(ブッポウソウ目)

兵庫県ランク: A

Eurystomus orientalis

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: EN

種の概要

アジア南部から中国北東部、アムール地方、日本、オーストラリア、ソロモン諸島などに繁殖分布する。北方のものは繁殖後は熱帯域に渡る。日本には春に渡来し本州、四国、九州で繁殖する。平地から山地の大木の多い森林や農耕地近くの林に生息し、樹洞やキツツキの古巣、電柱の穴などに営巣する。見通しのよい枝や電線に止まり、飛翔中のコガネムシやトンボなどをフライングキャッチする。

国内分布

北海道、南千島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：西垣慎治郎

(性別：オス(左)、メス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、西宮市、芦屋市、相生市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、三木市、小野市、三田市、丹波篠山市、★養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、猪名川町、神河町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に記録がある。かつては県内全域に広く繁殖分布していた。1964年頃を境に、次第に繁殖地が減り、個体数も急減し、1990年頃には但馬地域にごく少数が営巣するだけになった。現在では渡りの時期に稀に記録されるものの、繁殖個体群はほぼ消滅状態にある。

保護上の留意点

山地が隣接する岡山県では保護の下に繁殖しており、個体数も増加している。兵庫県においても、現在の営巣適地に巣箱を架設するなど、積極的な保全対策を行うことで繁殖個体群を再確立できると考えられる。

108 アカショウビン

(ブッポウソウ目)

兵庫県ランク: B

Halcyon coromanda

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヒマラヤから東南アジア、中国南・北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖する。北方のものは繁殖後は熱帯域に渡り、越冬する。日本では、北海道から九州には春に渡来し繁殖するが、沖縄には周年生息し繁殖する。溪流のあるよく茂った広葉樹林に生息し、大木の樹洞、朽木、崖地などに営巣する。魚類やカニ類、カエル類、昆虫類など、様々な小動物を捕食する。



写真提供：三谷康則

(性別：不明)

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★伊丹市、★豊岡市、西脇市、★宝塚市、★丹波篠山市、★養父市、丹波市、★朝来市、★宍粟市、たつの市、★神河町、★上郡町、★香美町、★佐用町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
		○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に生息し繁殖する。繁殖期には県中・北部の山地樹林帯で「キョロロロ…」とよく響く独特のさえずりが聞かれるが、個体数は少ない。繁殖の記録もあるが、森林開発に伴い、生息地が減少している。秋の渡去時には、幼鳥が市街地の人家などに迷い込むことがある。

保護上の留意点

山間の発達した広葉樹林と樹林内の溪流沿いの環境の保全が重要。同時に、営巣場所では写真マニアによる繁殖妨害なども懸念されるところがあり、人の立ち入り制限なども必要。

109 カワセミ

(ブポウソウ目)

兵庫県ランク: 注

Alcedo atthis

繁殖個体群:注 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパからアジアの中南部に繁殖分布する。北方のものは繁殖後は南方に渡る。日本では全域に周年生息し繁殖する。清流を代表する鳥で、平地から山地の湖沼、河川、水路などに生息し、土手や崖などに横穴を掘って営巣する。主に小魚類や水生昆虫類、カエル類、エビ類などを捕食する。一時期、河川の水質汚濁により、全国的に個体数が激減したが、最近はかなり回復している。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、男女群島、甌島列島、宇治群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、沖縄諸島、宮古諸島、八重山諸島、尖閣諸島、大東諸島



写真提供：友田達也

(性別：メス(左)、オス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★神河町、★太子町、★上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 環息 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
					○				

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年生息し繁殖する。1950年頃までは県内各地で普通に見られていたが、その後急減した。近年、河川の浄化や水辺環境の回復を図る努力がなされてきたため、現在ではほぼかつての分布に近い状況にまで回復しつつある。また、本種は良好な水辺環境の指標種としても有効である。

保護上の留意点

県内の広い範囲で、本種の生息状況が回復しつつあるが、河川や池沼の水際、水路に餌となる小魚類や水生昆虫類が生息できる環境を作り出すことが必要。また、土手や崖など土が露出したところに穴を掘って営巣するため、コンクリート護岸は営巣の支障となっている。本種の保護のためには、土を露出させた場所や営巣用土管設置など、人為的に営巣場所を創出することも極めて重要。

110 ヤマセミ

(ブッポウソウ目)

兵庫県ランク: A

Megaceryle lugubris

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク:

種の概要

ヒマラヤ東部から中国南部、インドシナ半島北部、日本などに繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。山麓から山地の溪流や水のきれいな河川中流から上流、森林に囲まれた湖沼に生息し、土の崖に穴を掘って営巣する。主に魚類を捕食する。

国内分布

本州、佐渡、四国、九州、対馬、壱岐、甌島列島、種子島、屋久島



写真提供：北野光良

(性別：オス(左)、メス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、明石市、★西宮市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、小野市、★三田市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★朝来市、★宍粟市、たつの市、猪名川町、多可町、★神河町、佐用町、★香美町、★新温泉町、加東市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 環息 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクへ変更。

県内では局地的ではあるが周年生息し繁殖する。かつては県中・北部の山間溪流に、個体数は限られているものの、普通に見られていた。近年の河川環境の改変に伴い、個体数、分布域ともに急減しており、局地的消滅の危険度は極めて高い。最近、本種がつかいで生息する河川が著しく減少し、緊急の保全対策が必要とされるため、Aランクへ変更した。

保護上の留意点

河川中上流部の渓流域やダム周辺に生息し、餌場から近い崖地に穴を掘って営巣する。両方が揃う場所が限定されることから、現在の生息域の渓流域の環境と共に水質の保全が必要。既知の繁殖地では、繁殖期における本種の生息水域でのレジャー的な利用などの人の立ち入りを制限することが必要。

111 アリスイ

(キツキ目)

兵庫県ランク: B

Jynx torquilla

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

アフリカ北西部、ヨーロッパ西部から中央アジア、ヒマラヤ、シベリア、モンゴル、中国、朝鮮半島北部、日本北部などで繁殖する。北方のものは繁殖後はアフリカ、南アジアなど熱帯域に渡り、越冬する。日本では北海道から本州北部で繁殖し、本州中・南西部、四国、九州で越冬する。開けた森林、林縁、農耕地などに生息する。地上や樹上でアリ類を好んで採食する。



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甬島列島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、★宝塚市、三木市、★川西市、小野市、★三田市、★丹波市、南あわじ市、淡路市、加東市、★猪名川町、★稻美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-4月に生息する。比較的個体数の少ない鳥で、観察記録は多くない。最近、農耕地、灌木林の改変や池沼・河川の改修などにより、越冬する場所が少なくなっている。

保護上の留意点

農耕地周辺の灌木林や河畔林を極力残すことや池沼のヨシ原を再生させるなどの努力が必要。

112 アカゲラ

(キツツキ目)

Dendrocopos major

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパから中央アジア、シベリア南部、モンゴル、中国、千島列島、サハリン、日本、インドシナ半島北部、北アフリカの一部などに広く繁殖分布する。日本では北海道と本州に周年生息し繁殖する。四国、九州にも不定期的に飛来する。落葉広葉樹林や針広混交林に生息し、樹洞に営巣する。大木の幹を螺旋状に登りながら、主に昆虫類などを捕食する。

国内分布

本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、伊豆諸島



写真提供：友田達也

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★宝塚市、三木市、★高砂市、川西市、小野市、★三田市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、★稲美町、★神河町、上郡町、佐用町、★香美町、★新温泉町



写真提供：友田達也

(性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要注目ランクへ変更。

県内では周年生息し繁殖する。かつては山麓の林でも見ることができたが、近年の開発で生息地が失われ急減した。現在は少数ながらも各地で記録されているが、繁殖地は限られている。比較的個体数は安定しているが、森林環境の指標種としても有効であるため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

山地の森林に広く生息するが、繁殖が巨木のある自然環境の残る森林環境に限定されるため、そのような森林環境の保全が重要。

113 オオアカゲラ

(キツツキ目)

兵庫県ランク: B

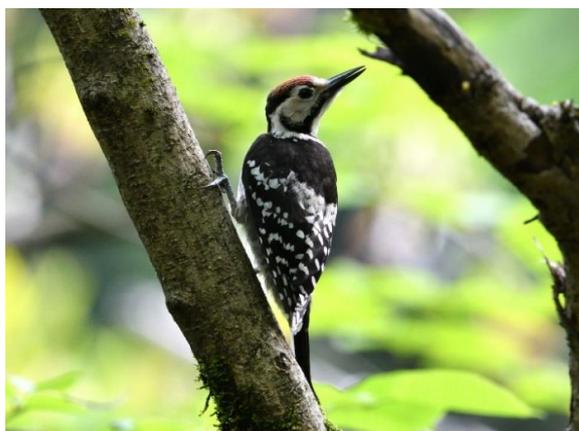
Dendrocopos leucotos

繁殖個体群:B 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパから中央アジア、シベリア、モンゴル、中国、台湾、日本などに繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。落葉広葉樹林、針広混交林、常緑広葉樹林の枯れた大木のある深い森林に生息し、大木に穴を空けて営巣する。枯れ木をつついて昆虫類やクモ類、特にカミキリやその幼虫を好んで捕食する。



写真提供：友田達也

(性別：オス)

国内分布

本州北・中部、粟島、佐渡

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★豊岡市、★養父市、★丹波市、★宍粟市、多可町、★神河町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では局地的ではあるが、周年生息し繁殖する。もともと個体数は多くないが、かつては西播北部地域や但馬地域では多くみることができた。六甲山でも1962年12月に巣穴を掘る1羽が観察されている。近年は営巣場所に必要巨木が減っているため、個体数はかなり減っている。

保護上の留意点

本種は二次林や造林地は利用せず、ブナ林などの巨木が多く残る自然林に生息するため、現在生息が確認されている森林環境をそのまま保全することが唯一の保護対策である。

114 アオゲラ

(キツキ目)

兵庫県ランク: 注

Picus awokera

繁殖個体群:注 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

日本固有種。本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。平地から山地のよく茂った広葉樹林に生息し、太い木の幹に穴を掘って営巣する。昆虫類やクモ類などを捕食する。特に朽木内の幼虫を好み、特有の舌で木の中から引っ張り出して食べる。



写真提供：北野光良 (性別：オス)

国内分布

本州、飛島、粟島、佐渡

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、芦屋市、伊丹市、相生市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★川西市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★朝来市、★宍粟市、★加東市、たつの市、★猪名川町、★神河町、上郡町、佐用町、★香美町、★新温泉町



写真提供：北野光良 (性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境	局地的繁殖	希少
					○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要注目ランクへ変更。
 県内には周年生息し繁殖する。淡路島以外の県内各地に生息する。森林性の鳥であるが、冬には市街地の公園にも飛来することがある。個体数はもともと多くない。森林の害虫駆除に一役かっており、森林環境の指標種としても有効であるため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

山地の森林に広く生息するが、繁殖が巨木のある自然環境の残る森林環境に限定されるため、そのような森林環境の保全が重要。

115 アカアシチョウゲンボウ (ハヤブサ目)

Falco amurensis

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からモンゴル北東部、中国東北部、朝鮮半島などで繁殖し、繁殖後は主にアフリカ南東部に渡るが、アジア南部でも少数が越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に主に北海道と本州に渡来する。畑や水田など農耕地上空を速く羽ばたきながら飛び交い、主に昆虫や小鳥を捕食する。地上に降りてネズミやトカゲ、カエルなども食べる。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甌島列島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★明石市、★豊岡市、★丹波篠山市、★丹波市



写真提供：友田達也

(性別：不明)

※幼鳥

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
									○



写真提供：友田達也

(性別：不明)

※幼鳥

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。

県内では主に5月と10月に記録がある。古い記録はなく、2007年10月豊岡市1羽が県内では初めての記録。春秋の渡りの時期に多くのタカ類の渡りに混じって上空を通過するため、見落とされていた可能性がある。個体数は極めて少なく局地的ではあるが、最近では農耕地に降りて採食行動をする個体も観察されている。今後の動向に注目する必要があるため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

既知の生息地周辺の自然環境の保全が極めて重要。

116 コチョウゲンボウ

(ハヤブサ目)

兵庫県ランク: C

Falco columbarius

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、中国、サハリン、アラスカ、カナダなどで繁殖し、繁殖後は南方に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、全国各地で越冬する。平地の森林や農耕地、海岸、埋立地などに生息する。田畑や埋立地の草原で主に小鳥類やネズミ類、昆虫類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、小野市、加西市、丹波市、南あわじ市、加東市、たつの市、★稲美町、香美町



写真提供：森田俊司

(性別：オス)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
		○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-翌4月に記録がある。1960年代から1970年代頃に一時的に記録されなかった時期があるが、その後は不規則ながらも県内各地で記録されている。もともと個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

草原性の昆虫類や小鳥類など、本種の餌となる小動物が減ったことが、主な減少要因である。保護には農薬や除草剤の使用制限および河川敷の河畔林や草地の再生と動物群集の増殖が必要。

117 チゴハヤブサ

(ハヤブサ目)

兵庫県ランク: C

Falco subbuteo

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ、シベリア、中央アジア、南アジア北部、インドシナ半島北部、中国、日本などで繁殖し、繁殖後は熱帯域に渡る。日本では北海道と本州北部で繁殖し、春秋の渡りの時期には本州中部以南に渡来する。平地から山地の森林、草原、農耕地などの比較的開けた場所に生息する。低空を迅速に羽ばたきと滑空を繰り返しながら直線的に飛行する。大型の昆虫類や小鳥類、コウモリ類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州北部、本州中・南西部、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供 : 鳥田陽子

(性別 : 不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、★川西市、加西市、★淡路市、加東市、たつの市、稲美町、★神河町、★香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○		○				○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4月と9-11月に記録がある。公表されている記録は少なく、ほとんどは渡りのときに上空を通過する個体の観察記録だけである。個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

餌となる大型の昆虫類や小鳥類などの多い森林、草原、農耕地などの保全が重要。

118 ハヤブサ

(ハヤブサ目)

兵庫県ランク: B

Falco peregrinus

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:C

◎国内希少野生動物種

環境省ランク: VU

種の概要

南極とニュージーランドを除く世界各地に繁殖分布する。繁殖後も多くは繁殖地周辺に生息するが、北方のものには温帯域に渡る。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。沖縄には冬期に生息する。海岸、河口、湖沼、原野や農耕地などに生息し、海岸の断崖などで営巣する。飛行は速く直線的で、小型から中型の鳥類を急襲して捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、七ツ島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、老岐、福岡沖ノ島、筑前大島、小呂島、烏帽子島、白島、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



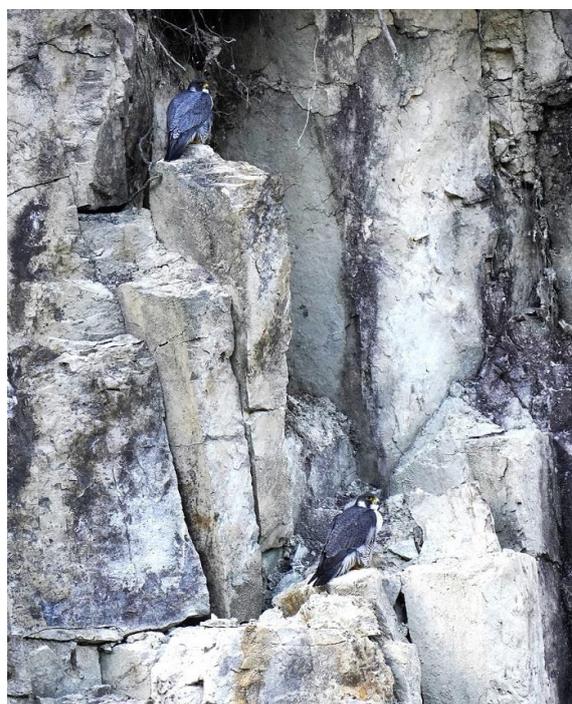
写真提供：梅津節雄 (性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★稲美町、★播磨町、★神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○	○		○	○



写真提供：梅津節雄

(性別：オス(上)、メス(下))

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息し繁殖しているが、個体数は少ない。秋から冬には、他地域や大陸からの越冬個体が飛来するため個体数は増える。近年減少していたが、最近では、都市構造物で繁殖する個体が出現し、個体数・分布域とも回復する傾向がみられる。

保護上の留意点

繁殖地は極めて限られているので、営巣場所の保全や繁殖期間中の工事や人の立ち入り制限などが必要。また、最近では人工構造物で営巣するつがいが出現しているが、それぞれの環境下における有効な保全対策を検討することが必要。

119 ヤイロチョウ

(スズメ目)

兵庫県ランク: 注

Pitta nympha

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

◎国内希少野生動植物種

環境省ランク: EN

種の概要

日本、朝鮮半島南部、中国、台湾などで繁殖し、繁殖後は中国南部から東南アジアなどに渡る。日本には春に渡来し、本州中・南西部、四国、九州で繁殖する。山地の常緑広葉樹や落葉広葉樹が鬱蒼と繁る溪流沿いの湿った森林に生息し、太い木の根元や岩の窪み、樹上で営巣する。地上で昆虫類やミミズ類などを採食する。



写真提供：友田達也 (性別：不明)

国内分布

北海道、本州北部、飛島、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、五島列島、甌島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、沖縄島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★豊岡市、★丹波篠山市、★養父市、丹波市、★香美町、★新温泉町



写真提供：友田達也 (性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。
県内では主に5-8月に生息する。氷ノ山周辺でつがいの観察記録がある他、六甲山系や多紀連山などで渡り途中と思われる個体のさえずりが聞かれることがある。しかし、観察例も個体数も極めて少ない。県内では営巣地が確認されていなかったが、2023年8月に丹波篠山市で巣立ちが確認された。今後の動向や繁殖地の環境等に注目する必要があるため、要調査から要注目に変更した。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、古くから残る自然環境の残る森林でしか確認されていないため、現在生息が確認されている森林環境の確実な保全が重要。

120 サンショウクイ (スズメ目)

Pericrocotus divaricatus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク: VU

種の概要

シベリア南東部から中国北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡る。日本には春に渡来し、本州と四国で繁殖する。平地から丘陵、低山の落葉広葉樹林など、比較的明るい林に生息し、高木の横枝に営巣する。樹上で昆虫類やクモ類を捕食する。秋は数十羽の群れが球状となって渡る。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、上三島諸島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、沖縄諸島、宮古諸島、八重山諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、★川西市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、たつの市、★猪名川町、★多可町、★神河町、上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性の 低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息 環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○								○

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要注目ランクへ変更。

県内では主に4-9月に生息し繁殖する。1960年代には秋の渡去時に六甲山系で30-70羽の群れがよく観察されていたが、近年に急減した。しかし、最近では県内各地で記録されるようになり、生息状況はやや回復していると考えられるため、要注目ランクに変更した。

保護上の留意点

本種が生息し、好んで繁殖する山麓から低山の高木が繁る落葉広葉樹林を保全・維持するとともに、計画的な山林の管理により落葉広葉樹林の育成が重要。



写真提供：北野光良

(性別：オス)



写真提供：北野光良

(性別：メス)

121 チゴモズ

(スズメ目)

Lanius tigrinus

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク: CR

種の概要

シベリア南東部から中国東・北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖し、繁殖後はマレー半島から大スンダ列島などに渡り、越冬する。日本では本州北・中部で繁殖するが、個体数は少なく分布は局所的である。春秋の渡りの時期には本州南西部、四国、九州を通過する。平地から丘陵地の広葉樹林や混交林の林縁部に生息し、昆虫類やクモ類などの小動物を捕食する。

国内分布

北海道、礼文島、焼尻島、天売島、渡島大島、本州北・中部、飛島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、西宮市、宝塚市



写真提供：片岡宣彦

(性別：オス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね ぐ 特 殊 ら 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○								○

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクから要調査ランクへ変更。

県内では主に4-6月と8-9月に記録がある。1960年代には神戸市で毎年観察されているように、古くから県南部では渡りの時期に記録があり、数の少ない旅鳥と考えられていた。しかし、1975年以降は公にされている記録は極めて少ない。また、日本鳥類目録改訂第8版では兵庫県は迷鳥としているため、要調査ランクに変更した。

保護上の留意点

都市環境下で損なわれている平地から丘陵地、低山地の自然環境の残る明るい林の再生が必要。

122 アカモズ

(スズメ目)

兵庫県ランク: C

Lanius cristatus

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:無 通過個体群:C

◎国内希少野生動植物種

環境省ランク: EN

種の概要

シベリア中部からモンゴル、中国東・北東部、朝鮮半島、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は中国南部からアジア南部などに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州北・中部で繁殖する。春秋の渡りの時期には本州南西部、四国、九州などを通過する。平地から山地の明るい林や林縁、疎林に生息し、樹上に営巣する。昆虫類やカエル類、小鳥類、ネズミ類などの小動物を捕食する。

国内分布

北海道、利尻島、本州北・中部、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、本州南西部、見島、四国、九州、対馬、壱岐、男女群島、沖縄島、八重山諸島



写真提供：山本恵里子 (性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、伊丹市、豊岡市、宝塚市、丹波篠山市、養父市、丹波市、★淡路市、宍粟市、稲美町、香美町

※亜種シマアカモズ

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個 体 数 激 減	分 布 域 激 減	餌 の 可 用 性 の 低 下	特 殊 競 争 圧	特 殊 捕 食 圧	特 殊 繁 殖 環 境	特 殊 採 餌 環 境	ね 特 殊 ら 休 息 環 境 ・	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○						○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからCランクへ変更。

県内では主に4-9月に生息する。1970年代までは比較的記録があるが、その後減少した。2000年以降では2003年3月姫路市、2010年5月神戸市、同伊丹市の3例に過ぎない。また、公にされている繁殖記録は1970年6月豊岡市円山川沿いの林での1例だけで、その後、繁殖は確認されていないため、繁殖個体群のランクはBからExに変更し、種のランクは通過個体群ランクのCランクとした。

保護上の留意点

渡り時期に通過コースとなる地域では、本種の主要な餌となるカエルやバッタ、ネズミ類などの小動物が普通に生息する農環境の保全が重要。

123 オナガ

(スズメ目)

兵庫県ランク: Ex

Cyanopica cyanus

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:Ex 通過個体群:Ex

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からモンゴル、中国、朝鮮半島、日本などに繁殖分布する。日本では、本州北・中部に周年生息し繁殖する。かつては本州南西部と九州にも周年生息し繁殖していたが、現在は絶滅した。平地から山地の明るい林や農耕地、緑の多い住宅地に生息し、屋敷林や公園の高い木の梢に営巣する。昆虫類やミミズ類、果実、種子、小鳥類の卵などを採食する。

写真なし

国内分布

本州北・中部、本州南西部、四国、九州、伊豆諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、加古川市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

1960年代初めまでは瀬戸内側の海岸沿いの松林に多数が周年生息し、繁殖していた。当時の標本(成鳥、巣、卵)が兵庫県立人と自然の博物館及び姫路市科学館に保管されている。その後急減し、1967年には明石市土山や神戸市玉津、西宮市から宝塚市に続く武庫川沿いの松林などで少数が繁殖するだけとなっていたが、1972年を最後に姿が全く見られなくなっている。

保護上の留意点

本種の現在の分布の南限(本州中部)を考えると、県内への自然な分布拡大は難しいと考えられる。一度絶滅した種を復活させるには再導入という方法があるが、その計画は慎重に進める必要がある。

124 コクマルガラス

(スズメ目)

Corvus dauuricus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ロシア南東部からモンゴル、中国西・南部などで繁殖し、繁殖後は中央アジアから中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では、主に九州に渡来し越冬するが、最近は本州、四国でも越冬するようになっている。雑食性で、水田や畑の地上で穀類、豆類、昆虫類などを採食する。



写真提供：加地啓子

(性別：不明)

※白色型

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★伊丹市、★豊岡市、★加西市、丹波篠山市、たつの市、稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要注目ランクへ変更。

県内では主に11-翌4月に記録があるが、古い記録はない。1989年11月の豊岡市での記録が最初で、その後各地で記録されるようになった。多くはミヤマガラスの大群に混じっているが、単独でも記録されている。最近では、増減傾向はなく、個体数は比較的安定していると考えられるため、要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

将来、県内への渡来個体数が増加することが予想される。主な生息環境である耕作地などを広く維持し、その環境の保全に努める必要がある。

125 コガラ

(スズメ目)

兵庫県ランク: 注

Poecile montanus

繁殖個体群:注 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

西ヨーロッパからシベリア、モンゴル北部、中国北部、朝鮮半島北部、千島列島南部、サハリン、日本などに繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。山地の落葉広葉樹林や針広混交林に生息し、枯木に巣穴を掘ったり、キツツキの古巣を利用してして営巣する。主に昆虫類やクモ類などを採食する。秋から冬には木の実も食べる。

国内分布

北海道、利尻島、本州、飛島、粟島、佐渡、四国、九州



写真提供：北野光良

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★豊岡市、西脇市、宝塚市、川西市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★神河町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息 環 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
					○	○		○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

主に但馬、丹波、西播地域に周年生息し繁殖するが、個体数は多くない。秋から冬にかけては数羽から10数羽の群れまたは他のカラ類と混群して行動する。厳冬期には中南部の山地や丘陵地にも少数が飛来する。最近、記録される地域がやや増えているが、どれも非繁殖期のもので個体数も少ない。また、繁殖状況の変動はわかっていない。

保護上の留意点

主要な繁殖地であるブナ林の保全が重要。

126 ツリスガラ

(スズメ目)

兵庫県ランク: B

Remiz consobrinus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

中国北東部、内モンゴルなどで繁殖し、繁殖後は中国から朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、本州以南で越冬する。河口や河川敷、湖沼などのヨシ原に生息し、ヨシの茎を割って昆虫類やクモ類などを食べる。10羽前後から数十羽の群れでいることが多い。



写真提供：福本誠

(性別：オス)

国内分布

本州北部、本州中部、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、トカラ列島、奄美大島、沖縄島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、小野市、朝来市、たつの市、稲美町、播磨町



写真提供：北野光良

(性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 特殊 ら休 息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクへ変更。

県内では主に11-翌5月に生息するが、古い記録はない。1982年11月に赤穂市西浜の塩田跡で記録されたのが最初で、1983年2月には同所で69羽が記録されている。その後、各地で渡来が確認され、個体数も増えたが、1980年代の記録は全て瀬戸内側で、日本海側での記録は1991年11月豊岡市が最初である。最近では、個体数、分布域ともに急減しているため、Bランクへ変更した。

保護上の留意点

本種の生息は、ヨシ原に依存しているため、冬期のヨシ原の保全が重要。特にヨシ刈りはその生息に重大な影響を与えるため、本種が生息しているヨシ原では慎重に対応することが必要。

127 メボソムシクイ

(スズメ目)

Phylloscopus xanthodryas

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

日本で繁殖し、繁殖後は台湾、中国南東部、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、本州、四国、九州の亜高山帯で繁殖する。亜高山帯の針葉樹林や落葉広葉樹林に生息し繁殖する。樹上で昆虫類やクモ類を採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

本州、飛島、佐渡、舩倉島、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、沖縄島、宮古諸島、八重山諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、三木市、高砂市、★川西市、★三田市、★丹波篠山市、★養父市、丹波市、南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、たつの市、多可町、★稲美町、★神河町、上郡町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-6月と8-11月に生息し、平地の林から山地の森林まで比較的広い範囲で記録があるが、その多くは渡りの通過時のものである。県北部の氷ノ山と扇ノ山周辺の1,200m以上の高所では6-8月にも記録があり、少数が繁殖していると考えられている。

保護上の留意点

山地の落葉広葉樹林の保全が重要。

128 オオヨシキリ

(スズメ目)

Acrocephalus orientalis

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ロシア南東部からモンゴル中部、中国北・東部、朝鮮半島、日本(九州以北)などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州、四国、九州で繁殖し、繁殖を終えると南方に渡る。海岸、河口、川岸、湖沼畔のヨシ原に生息し、ヨシの茎を2-4本利用して椀型の巣を造って繁殖する。ヨシ原内で昆虫類などを採食する。



写真提供: 梅津節雄

(性別: オス)

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、宝塚市、★三木市、高砂市、★川西市、小野市、★三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、加東市、たつの市、多可町、★稲美町、市川町、福崎町、★神河町、太子町、上郡町、★佐用町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
	○	○			○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に生息し繁殖する。かつては各地に多数が渡来し繁殖していたが、近年の開発で多くの生息地が失われたため、営巣地が激減し個体数も急減した。最近、水辺の自然再生事業などで植栽されたヨシ原でも繁殖が見られており、個体数はやや回復傾向にある。ヨシ原を主とする良好な水辺環境の指標種とされる。

保護上の留意点

ヨシ原への依存度が極めて高く、その保全と再生が重要。

129 コヨシキリ

(スズメ目)

兵庫県ランク: C

Acrocephalus bistrigiceps

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

モンゴル東部からロシア南東部、中国東部、日本などで繁殖し、繁殖後は中国南東部から南アジア東部、インドシナ半島などに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、主に北海道と本州で繁殖する。近畿地方では琵琶湖岸や内湖で局地的に繁殖する。河川敷、湖沼の繁った草原やヨシ原に生息し、ヨシ、ススキなどの茎に碗状の巣を造る。茂みの中で昆虫類やクモ類を食べる。



写真提供：出口敦司

(性別：オス)

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、草垣群島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、尖閣諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★川西市、★淡路市、加東市、稲美町、播磨町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個 体 数 激 減	分 布 域 激 減	餌 の 可 用 性 の 低 下	特 殊 競 争 圧	特 殊 捕 食 圧	特 殊 繁 殖 環 境	特 殊 採 餌 環 境	ね 特 殊 ら 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
						○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-6月と9-10月に生息する。近年の生息環境の消滅・悪化により、減少傾向が続いている。繁殖期にも生息記録はあるが、営巣の記録はない。

保護上の留意点

河川敷や池沼におけるヨシ原の保全と再生および本種の生息を脅かさない管理が重要。

130 エゾセンニュウ

(スズメ目)

Locustella amnicola

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

千島列島南部、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道で繁殖する。春秋の渡りの時期に本州、四国、九州、沖縄に渡来する。個体数は少なく、本州における記録は各地ともに少ない。低木や草の茂みの中を潜行し、姿を見せる機会は少ない。主に昆虫類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、草垣群島、屋久島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：片岡宣彦

(性別：不明)

※第一回冬羽

※鳥類標識調査時に撮影

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、西宮市、★豊岡市、宝塚市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-6月に生息するが、茂みを潜行するため観察が難しく記録は極めて少ない。2000年以降の記録は極めて限られている。標識調査で確認されることがあるが、最近の生息状況は不明。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、山地から山麓、丘陵地における自然環境の残る灌木林や草原の保全と再生が重要。

131 シマセンニュウ

(スズメ目)

Locustella ochotensis

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

オホーツク海沿岸からカムチャツカ半島、千島列島、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道で繁殖する。春秋の渡りの時期に本州、四国、九州、沖縄に渡来する。海岸部の草原や湿原、河川敷、牧草地などに生息し、昆虫類や節足動物などを採食する。



写真提供：片岡宣彦

(性別：不明)

※成鳥

※鳥類標識調査時に撮影

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、高砂市、養父市、★淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○					○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。

県内では主に4-6月と9-10月に生息する。個体数が少ない上に、草の中を潜行するため観察記録は多くない。2000年以降の記録は極めて限られている。鳥類標識調査では豊岡市円山川河川敷などで定期的に多数確認記録があるが、はっきりとした生息状況が不明なため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主要な生息地であるヨシ原の多くが近年の開発の時代に失われたことが、本種の減少要因であることから、河川敷や池沼周辺での広いヨシ原の再生が重要。

132 マキノセンニュウ (スズメ目)

Locustella lanceolata

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク: NT

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、中国北東部、千島列島、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は南アジア東部から東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では春に渡来し、北海道で繁殖する。春秋の渡りの時期に本州、四国、九州に渡来する。草原に生息し、草の中を移動しながら昆虫類やクモ類を採食する。通常、単独かつがいで生活し群れにはならない。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、草垣諸島、与論島、沖縄島、与那国島



写真提供：山根みどり (性別：不明)

※幼鳥

※鳥類標識調査時に撮影

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、高砂市、南あわじ市、加東市、神河町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と9-11月に記録されるが、多くはない。深い草むらの間や地面近くを潜行し、人が近づいても飛び立つことが少なく、観察されにくい。2000年以降の観察記録は極めて限られている。標識調査で確認されることはあるが、生息状況は不明。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主要な生息地である自然環境の残る草原やヨシ原の保全と再生が重要。

133 ゴジュウカラ

(スズメ目)

兵庫県ランク: C

Sitta europaea

繁殖個体群:C 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

アフリカ北部から南・西・東ヨーロッパ、シベリア南部、モンゴル北部、中国、朝鮮半島、千島列島、サハリン、日本、台湾などに繁殖分布する。日本では北海道から九州に周年生息し繁殖する。山地の落葉広葉樹林や亜高山の針葉樹林などの深い原生林に生息し、樹洞やキツツキの古巣などに営巣する。主に樹上の昆虫類やクモ類を採食するが、秋から冬には木の実なども食べる。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

本州、四国、九州北部

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★豊岡市、宝塚市、三田市、★養父市、★朝来市、★宍粟市、★神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○					○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからCランクへ変更。

県北部には周年生息し繁殖している。主な生息環境であるブナ林が、近年の開発で減ったことにより個体数が減少した。しかし、最近では主要な生息地である県北部で比較的安定して生息が確認されていることから、Cランクへ変更した。

保護上の留意点

生息地であるブナ林の保全が重要であるが、本種は、特に古木や大径木が多い森林に好んで生息するので、その保全および大径木の健全な育成に努めることが重要。また最近のブナ林の衰退に伴う本種の生息状況の調査が望まれる。

134 キバシリ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Certhia familiaris

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパから中央アジア、シベリア南部、モンゴル北部、中国北部、サハリン、朝鮮半島、日本などに繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。山地の針葉樹林、針広混交林、落葉広葉樹林に生息し、木の割れ目や樹洞に営巣する。樹上で昆虫類やクモ類などを採食する。冬はカラ類の混群に混じることもある。



写真提供：片岡宣彦

(性別：不明)

国内分布

本州、舩倉島、四国、九州

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、養父市、宍粟市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
					○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県北部に少数ながら周年生息し繁殖する。個体数は極めて少なく、最近では観察記録も見当たらない。

保護上の留意点

本種は深い森林の大径木の上部に好んで生息するため、本種が生息する森林は現状を改変することなく保全すること、また、樹齢の高い大径木の伐採や枯損木の処理を行わないなど森林管理における配慮が重要。

135 コムクドリ

(スズメ目)

Agropsar philippensis

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

サハリンと日本北部で繁殖し、繁殖後は沖縄からフィリピン、ボルネオなどに渡り、越冬する。日本では北海道から本州北・中部で繁殖する。春秋の渡りの時期には本州南西部から四国、九州を通過する。沖縄では越冬する。平地から山地の疎林や農耕地に生息し、落葉広葉樹林で繁殖する。樹上で昆虫類や木の実を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北・中部、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：友田達也

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★宝塚市、三木市、★高砂市、川西市、小野市、★養父市、南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、★稲美町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 特殊 ら休 環息 境・	局 地的 繁殖	希 少
○							○		



写真提供：友田達也

(性別：オス(上)、メス(下))

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-10月に生息する。かつては秋の渡り時期に数千羽の大群が通過する地域も見られた。文献上は、1959年10月伊丹市昆陽池での約2,100羽群が最大である。近年は単独若しくは十数羽の小群が各地で記録される程度に減っていたが、最近、やや回復傾向にあり、秋の渡りの時期には数百羽の群れが観察されることもある。

保護上の留意点

平地や丘陵のまとまった林が開発の時代に失われたことにより急減したため、現在残る林を保全育成し、拡大していくことが重要。

136 マミジロ

(スズメ目)

Geokichla sibirica

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア中・東部から中国北東部、サハリン、日本などで繁殖し、繁殖後は中国南部から東南アジアなどに渡る。日本では主に本州中部以北で繁殖するが、本州南西部の山地でも繁殖するところがある。本州南西部以南は春秋の渡りの時期に通過する。比較的標高の高い山地の落葉広葉樹林や針広混交林に生息し、枝上に営巣する。地上付近でミズ類や昆虫類などの小動物を採食する。木の実も食べる。

国内分布

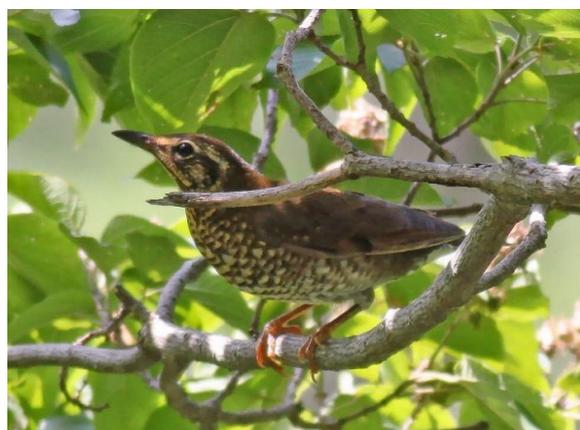
北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北・中部、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、★川西市、★養父市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★香美町、★新温泉町



写真提供：北野光良 (性別：オス)



写真提供：北野光良 (性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境	局地的繁殖	希少
		○			○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に生息する。多くは春秋の渡り時期に記録されるが、個体数は多くない。繁殖期に氷ノ山、扇ノ山、妙見山、蘇武岳などで観察されている。巣はまだ発見されていないが、氷ノ山では幼鳥が観察されていることから繁殖していると考えられる。

保護上の留意点

本種の保護には、極めて限られた繁殖地となっているブナ林など、高山の落葉広葉樹林の保全・再生が重要。また、渡りの時期に通過コースとなる山地や山麓の落葉広葉樹林の維持・拡大も重要。

137 コサメビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク: C

Muscicapa dauurica

繁殖個体群:C 越冬個体群:無 通過個体群:無

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部から中国北東部、朝鮮半島、サハリン、日本、南アジア北部、インドシナ半島北部などで繁殖する。北方のものは繁殖後は南方に渡る。日本では北海道、本州、四国で繁殖する。九州の一部でも繁殖するところがある。平地から低山の明るい林に生息し、大木の横枝にコケやクモ類の糸を利用して皿形の巣を造る。見通しの良い木の枝に止まって、飛んでいる昆虫類をフライングキャッチする。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★西脇市、★宝塚市、三木市、高砂市、★川西市、★三田市、★丹波篠山市、★養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、たつの市、★猪名川町、多可町、★稲美町、播磨町、★神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね 特殊 ら休 息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
					○				○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に生息し繁殖する。広い範囲で観察記録があるが、公表されている繁殖地は少なく、減少傾向にあるとされる。

保護上の留意点

繁殖環境である平地から低山の落葉広葉樹林が開発や植林で失われたことが減少要因とされる。本種の保護のためには、平地から低山に残存する落葉広葉樹林の保全に加え、落葉広葉樹林の再生が重要。

138 オオルリ

(スズメ目)

Cyanoptila cyanomelana

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部から中国北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖し、繁殖後は熱帯アジアに渡る。日本では九州以北で繁殖する。丘陵地から山地の沢沿いの広葉樹林や針広混交林に生息し、崖の窪みや樹洞などに椀型の巣を造り営巣する。建物の軒に造ることもある。飛んでいる昆虫類をフライングキャッチして食べる。春秋の渡りの時期は、平地から低山の林に生息する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舳倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★神河町、★太子町、★上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
					○	○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に生息し繁殖する。繁殖場所である丘陵から山間の落葉広葉樹林の減少に伴い、近年は個体数が減少している。古くには平地の社叢林でも繁殖例がある。春秋の渡りの時期には、自然環境の残る落葉広葉樹を含む林があれば平地の都市緑地にも生息する。都市における樹林地の自然再生の指標種としても大切である。

保護上の留意点

山地から丘陵地、平地における自然環境の残る落葉広葉樹林の保全・再生が重要。



写真提供：北野光良

(性別：オス)



写真提供：北野光良

(性別：メス)

139 コルリ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Larivora cyane

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部、中国北東部、朝鮮半島、サハリン、日本などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡る。日本には春に渡来し、本州中部以北で繁殖するが、南西部以南でも繁殖するところがある。高い山地の針広混交林や落葉広葉樹林に生息し、崖地や地上に営巣する。低木や下枝がよく繁った林を好み、昆虫類、クモ類、ミズ類などの小動物を食べる。渡りの時期には山麓の雑木林などにも生息する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：友田達也

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★宝塚市、高砂市、三田市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、たつの市、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクへ変更。

県内では主に4-9月に記録があるが、多くは県の北部と南部で春秋の渡りの時期に記録される。氷ノ山や扇ノ山周辺には少数が生息し繁殖している。近年、シカの食害により営巣場所が激減しており、営巣地の厳重な保全対策が必要なため、Aランクへ変更した。

保護上の留意点

繁殖期に生息している場所は極めて限定されるので、その場所の森林植生を現状のまま広く保存すること、また、渡りの時期に利用する低山や山麓の広葉樹林の保全育成が重要。

140 コマドリ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Larvivora akahige

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

サハリン南部と日本などで繁殖し、繁殖後は中国南東部などに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州、四国、九州で繁殖する。繁殖を終えると南方に渡る。標高の高い山地のよく茂った夏緑広葉樹林や針広混交林に生息し、岩の凹みや倒木、樹根の下などに営巣する。ササ類が多い林床や茂みのある湿った地表で主に昆虫類やクモ類、ミズ類などの小動物を採食する。



写真提供：友田達也

(性別：オス)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、西脇市、宝塚市、川西市、三田市、丹波篠山市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、★宍粟市、たつの市、猪名川町、多可町、★稲美町、市川町、★神河町、太子町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○		○			○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクへ変更。

県内では主に4-11月に記録がある。春秋の渡りの時期に各地で記録されるが、個体数は少ない。氷ノ山や三室山林で少数が繁殖している可能性が高いが、巣や卵はまだ確認されていない。近年、シカの食害により営巣場所が激減しており、営巣地の厳重な保全対策が必要なため、Aランクへ変更した。

保護上の留意点

繁殖期に生息している場所は極めて限定されるので、その場所の森林植生を現状のまま広く保存すること、また、渡りの時期に通過する夏緑広葉樹林の保全育成が重要。

141 キビタキ

(スズメ目)

Ficedula narcissina

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

サハリンと日本で繁殖し、繁殖後は東南アジアの熱帯域に渡る。日本には春に渡来し北海道、本州、四国、九州で繁殖する。沖縄には周年生息し繁殖する。低山から山地の落葉広葉樹林から針広混交林に生息し、樹洞やキツツキの古巣などに営巣する。ブナなどの大木が繁る比較的明るい林で飛んでいる昆虫類を採食する。秋には木の実も食べる。山麓の社寺林や平地の都市緑地にも生息する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★神河町、★太子町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら・特殊休息環境・	局地的繁殖	希少
					○	○		○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では4-11月に生息し繁殖する。山林開発とともに一時急減していたが、最近では減少傾向が止まり、個体数は回復の傾向にある。また自然環境の残る広葉樹林の指標種として、また、都市における樹林地の自然再生の指標種としても大切である。

保護上の留意点

繁殖場所となる樹齢の高い落葉広葉樹林が植林地や開発用地に置き換わったため、繁殖数が減少した。もともと繁殖環境が脆弱なため、主要な繁殖環境である山地の自然度が高い落葉広葉樹林を保全・再生することが重要。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)



写真提供：梅津節雄

(性別：メス)

142 オジロビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク: 注

Ficedula albicilla

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ロシアからモンゴル北部、中国北東部などで繁殖し、繁殖後は南方に渡る。かつてはヨーロッパからロシア西部などで繁殖するニシオジロビタキも同種とされていたこと等から、古い記録は両種ともオジロビタキと記されている場合が多く、分布や生息状況について検証の余地があるとされる。平地から山地の針葉樹林や落葉広葉樹林、都市緑地などに生息し、主に昆虫類や草木の実などを採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：森田俊司

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、豊岡市、加古川市、三田市、淡路市、稲美町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。

県内では主に12-翌2月に記録がある。1983年12月に西宮市夙川で確認されたのが最初で、その後、断続的に県南部と北部で記録されている。最近では近似種ニシオジロビタキの記録が神戸市などで増加している一方、本種の記録が見当たらない。そのため、過去の記録を含め、本種の分布や生息の実態を精査するとともに、今後の動向に注目する必要があることから要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

県内では、平地の自然環境の残る林で観察例が多いため、そのような環境を都市緑地などで保全・再生することが重要。

143 ルリビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Tarsiger cyanurus

繁殖個体群:A 越冬個体群:- 通過個体群:-

環境省ランク:

種の概要

フィンランドからシベリア、モンゴル北部、中国南東部、朝鮮半島北部、サハリン、日本などで繁殖し、繁殖後は暖かい地方に渡る。日本では亜高山帯で繁殖する。高山の針葉樹林や針広混交林に生息し、林床や倒木の窪みなどで繁殖する。冬期は低山から平地に移動し、山麓の暗い斜面や溪流沿いに生息する。主に昆虫類、クモ類、ミズ類などの小動物の他、秋から冬には草木の実なども採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：友田達也 (性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★市川町、★神河町、★上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町



写真提供：友田達也 (性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○				○		○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に県内各地で観察される。以前は氷ノ山、扇ノ山などで5-8月の繁殖期に観察記録があり、繁殖の可能性があったが、近年は確認されていない。繁殖個体群が減少していると考えられている。

保護上の留意点

繁殖期に生息している場所の保全が重要。同時に、越冬地となる低山から平野の林をできるだけ残すことや下草の刈り込みを抑えること、除草剤や防虫剤の散布は行わないことが本種の保全対策として重要。

144 ジョウビタキ

(スズメ目)

Phoenicurus aureoreus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:— 通過個体群:—

環境省ランク:

種の概要

シベリア中南部、モンゴル、チベット、中国北東部、朝鮮半島北部などで繁殖し、繁殖後は温帯域に渡り、越冬する。日本では全国各地で越冬するが、最近、本州の一部で繁殖を始めた。平地から山地の農耕地や疎林、河原、緑の多い住宅地などに生息する。昆虫やクモ、草木の実などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、西之島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★播磨町、★市川町、★福崎町、★神河町、★太子町、★上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・ 特殊 繁殖 環境	局 地的 繁殖	希 少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。
ほとんどは10月に渡来し、県内全域の平地から里山の疎林や農耕地、公園緑地などで単独で縄張りを構えて、4月頃まで定着し越冬する。以前は繁殖はしていなかったが、2013年と2016年に養父市鉢伏高原で繁殖が確認された。その後も繁殖期に観察情報があることを踏まえ、繁殖個体群の今後の動向に注目する必要があることから、繁殖個体群について要注目ランクとした。

保護上の留意点

既知の繁殖地の自然環境を極力保全することが重要。



写真提供：鳥田陽子 (性別：オス)



写真提供：鳥田陽子 (性別：メス)



写真提供：出口敦司 (性別：オス)

145 ノビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Saxicola stejnegeri

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部から朝鮮半島、サハリン、千島列島、日本などで繁殖し、繁殖後は中国南部からアジア南部に渡る。日本では北海道、本州北・中部で繁殖する。春秋の渡りの時期には本州南西部、四国、九州、沖縄を通過する。背の低い草原に生息し、灌木や草の根元で営巣する。主に昆虫類を食べる。渡りの時期には平地の水田や川原に生息し、灌木の枝先や杭、草の葉先などに止まることが多い。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北・中部、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甞島列島、宇治群島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：梅津節雄

(性別：メス(左)、オス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、三木市、高砂市、★川西市、小野市、★三田市、加西市、丹波篠山市、★養父市、丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、宍粟市、加東市、★たつの市、★稲美町、★神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○				○			○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と9-11月に生息する。1978年6月と1980年7月などに鉢伏高原で育雛中の巣が確認されているが、その後は繁殖が確認されていないため、繁殖個体群はExランクとした。

保護上の留意点

繁殖地である鉢伏高原の植生の維持および繁殖期間中の人の立ち入りの抑制などの対策が重要。また、渡り時期の生息地となるヨシ原や草丈の高い草原の保全、河川敷や領地の下草の刈り込みの抑制も重要。

146 カワガラス

(スズメ目)

兵庫県ランク: C

Cinclus pallasii

繁殖個体群:C 越冬個体群:C 通過個体群:C

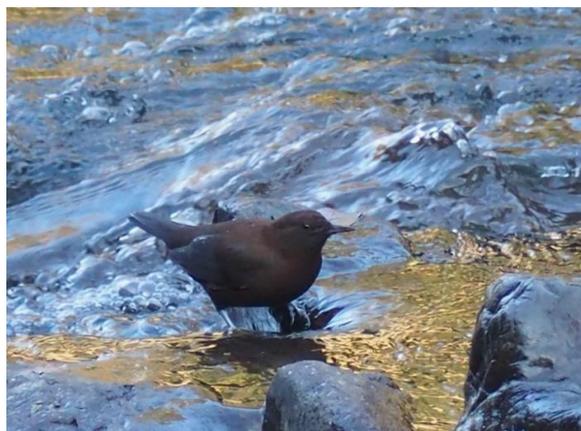
環境省ランク:

種の概要

中央アジア東部からヒマラヤ、インドシナ半島北部、中国、シベリア東部、サハリン、千島列島、日本などに繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。溪流に生息し、岩の隙間や滝の裏、砂防ダムの水抜き穴などにコケなどを利用して巣を造る。カワゲラやカゲロウなどの水生昆虫類を食べる。冬には、河川中流のやや開けたところにも姿を現す。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、本州、佐渡、四国、九州、屋久島、トカラ列島



写真提供：梅津節雄 (性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★西宮市、洲本市、芦屋市、★豊岡市、西脇市、宝塚市、★川西市、三田市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、★朝来市、★宍粟市、猪名川町、多可町、★神河町、上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○



写真提供：梅津節雄 (性別：不明)
※採餌風景

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息し繁殖する。かつては各地の溪流で繁殖していたが、近年の溪流の環境改変により多くの生息地が失われた。最近是人による攪乱によって、さらに減少傾向が続いている。

保護上の留意点

溪流の環境が大きく変わったことや溪流への人の入り込みが減少要因であることから、溪流の改修にあたっては、本種が営巣できる環境の確保または創出、および水量の確保と水生昆虫類が生息できる水辺環境の再生が重要。また、本種が生息する溪流では、繁殖期における立ち入り制限が必要。

147 ニュウナイスズメ (スズメ目)

Passer cinnamomeus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:一 通過個体群:一

環境省ランク:

種の概要

アフガニスタンからヒマラヤ、南アジア北東部、インドシナ半島北部、中国南・東部、朝鮮半島、サハリン、千島列島、日本などで繁殖し、北方のものは繁殖後に温帯域に渡り、越冬する。日本では主に本州北部以北で繁殖し、本州中部以南で越冬する。落葉広葉樹林や疎林、農耕地、ヨシ原などに生息する。秋から冬にはイネ科植物の種子などをよく採食するが、繁殖期は昆虫やクモなどを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中部、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、甌島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、洲本市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、宝塚市、三木市、川西市、小野市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、多可町、稲美町、★神河町、★上郡町、★佐用町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境	局地的繁殖	希少



写真提供: 北野光良 (性別: オス)



写真提供: 北野光良 (性別: メス)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。
 県内では主に11-翌4月に生息する。県南部の農耕地や林縁でよく観察されている。1987年1月三木市200羽、1994年10月たつの市400羽、2006年4月神戸市100羽、2022年4月神戸市150羽など、比較的大きな越冬個体群の渡来も少なくない。しかし、2014年5月に香美町鉢伏高原で繁殖が確認され、2017・18年にも繁殖活動が観察されていることから、今後の動向に注目する必要があるため、繁殖個体群について要注目ランクとした。

保護上の留意点

既知の繁殖地の自然環境を極力保全することが重要。

148 カヤクグリ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Prunella rubida

繁殖個体群:A 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

サハラ以南南部、千島列島、日本などで繁殖し、繁殖後は暖かい地方に渡り、越冬する。日本では、北海道と本州北部には周年生息し繁殖する。本州中・南西部、四国の高地でも少数が繁殖する。繁殖後は繁殖地周辺の低山や山麓の夏緑広葉樹林、林縁の藪などに生息する。繁殖期は昆虫類やクモ類を採食するが、秋から冬には草木の実を食べる。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、伊豆諸島



写真提供：梅津節雄 (性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、伊丹市、豊岡市、★加古川市、西脇市、★宝塚市、★川西市、三田市、丹波篠山市、★養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、宍粟市、加東市、★たつの市、猪名川町、★神河町、佐用町、★香美町



写真提供：梅津節雄 (性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら・休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○				○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌4月に生息するが、氷ノ山山頂周辺では6-10月にも記録があり、少数が繁殖している。最近は減少傾向が著しい。

保護上の留意点

極めて局地的な分布となっている繁殖地の保全および越冬場所の夏緑広葉樹林の保全が重要。また、毎年同じ場所に渡来する例が多いので、その場所の環境改変を極力少なくすることが重要。

149 ムネアカタヒバリ (スズメ目)

Anthus cervinus

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパ北部からシベリアのツンドラ、カムチャツカ、千島列島北部、アラスカ北西部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ中部、南アジア北部、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春秋の渡りの時期に渡来するが、本州以南では一部越冬するところがある。個体数は少ない。水田、畑、埋立地などに生息し、草の実や昆虫類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、西之島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、たつの市、★稲美町



写真提供：北野光良

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○							○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では10-11月に記録がある。1960年代までは伊丹市昆陽池などで秋に単独または数羽の群れが定期的に記録されていた。他の地域での記録は極めて限られているが、非繁殖期の羽色はタヒバリに酷似するため、混同されている可能性もあり、調査が必要とされる。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、農耕地や河原の湿地環境の保全が重要。

150 コイカル

(スズメ目)

兵庫県ランク: C

Eophona migratoria

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア南東部から中国中・北東部、朝鮮半島などで繁殖し、繁殖後は中国南部、日本、台湾、インドシナ半島北部などに渡り、越冬する。日本では主に本州、四国、九州、沖縄で越冬する。平地の明るい落葉広葉樹林や農耕地の疎林で越冬し、木の実などを採食する。市街地の公園にも飛来する。



写真提供：三木敏史

(性別：不明)

国内分布

北海道、利尻島、礼文島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、★伊丹市、豊岡市、宝塚市、丹波篠山市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○								○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌5月に生息する。かつては局地的ではあるが比較的広い範囲で越冬が確認されていたが、最近では伊丹市の昆陽池公園で越冬する単独または数羽の群れが報告されているに過ぎない。

保護上の留意点

現在、越冬が確認されているところでの保全および現状の環境管理が重要。

151 オオマシコ

(スズメ目)

Carpodacus roseus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

シベリア中部とモンゴル北部からオホーツク海沿岸、サハリン北部などで繁殖し、繁殖後はウスリーから中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では主に北海道と本州で越冬するが、四国以南でも不定期に記録されている。山地の明るい林の林縁や低木林などで越冬する。木の実や草の実などを採食する。



写真提供：加地啓子 (性別：オス)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★西宮市、★豊岡市、西脇市、宝塚市、三木市、三田市、養父市、丹波市、朝来市、★猪名川町、★香美町



写真提供：北野光良 (性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。
県内では12-翌4月に記録があるが、稀に記録される程度である。多い年には、数羽から数十羽の群れが観察されるが、年によって渡来状況に変動があり、今後の動向に注目する必要があるため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主な生息環境である山地の林縁や低木林の保全が重要。

152 ベニヒワ

(スズメ目)

Acanthis flammea

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、北アメリカの北極圏、グリーンランドなどで繁殖し、繁殖後はヨーロッパ南部から中央アジア、モンゴル、中国東部、北アメリカ北部などに渡り、越冬する。日本には秋に北海道から本州に渡来し、越冬する。草原や農耕地、明るい林に群れで生息し、草の実などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、草垣群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、西宮市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、養父市、宍粟市、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌4月に記録がある。かつては県内では極めて稀な渡来とされていた。近年、豊岡市や養父市などで観察記録が増えているが、渡来状況を含め、その生息状況は不明なところが多いため、要調査とした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主な生息環境である草原、農耕地、林地の保全が重要。



写真提供：友田達也

(性別：オス)



写真提供：友田達也

(性別：メス)

153 イスカ

(スズメ目)

Loxia curvirostra

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

アフリカ北西部の一部、ヨーロッパからシベリア、モンゴル北部、中央アジア、中国西部、日本北部、北・中央アメリカなどの針葉樹林帯に繁殖分布する。日本では北海道から本州中部で繁殖し、繁殖後は主に本州南西部から四国、九州などで越冬する。国内での繁殖例は少ない。山地の針葉樹林や針広混交林に生息する。マツ林を好み、特殊な形状の嘴でマツカサの中の種子を取り出して食べる。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、琉球諸島



写真提供：友田達也 (性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、西宮市、相生市、★豊岡市、宝塚市、川西市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、★神河町、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○			



写真提供：友田達也 (性別：メス)

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。
県内では主に10-翌6月に生息する。渡来は極めて不規則である。かつての多い年には、ほぼ県内全域の山林で観察されることもあったが、近年は局地的となっている。近年のマツ林の衰退により、分布地が限られるようになったと考えられる。年によって渡来する個体数に相当の違いがあることから、要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、健全なアカマツ林の保全と育成が重要。



写真提供：友田達也 (性別：メス(左)、オス(右))

154 ユキホオジロ

(スズメ目)

Plectrophenax nivalis

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ北東部からシベリア北東部、アリューシャン列島、北アメリカ北部などで繁殖し、繁殖後は温帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に北海道及び本州の日本海側で越冬する。海岸付近の草原や砂礫地に生息し、主に草の実を採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、見島、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、与那国島



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★豊岡市、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
							○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌3月に記録がある。古い記録は残されていない。1980年以降に豊岡市の海岸付近など、日本海沿いの地域で稀に記録されるが、生息状況が不明なため要調査とした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。

155 ホオアカ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Emberiza fucata

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

モンゴル北東部からシベリア、中国、朝鮮半島、日本(四国以北)などで繁殖し、繁殖後は北方のものは中国南部、日本(本州以南)、インドシナ半島などに渡り、越冬する。夏期は高原の草原に生息し、草や低木の根元に営巣する。冬期は広い灌木草原や河川敷、農耕地周囲の草むらやヨシ原に生息する。繁殖期には昆虫類やクモ類を、秋から冬にはイネ科やタデ科の草の実を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：友田達也 (性別：不明)

※夏

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、★川西市、小野市、丹波篠山市、★養父市、丹波市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、稲美町、香美町



写真提供：友田達也 (性別：不明)

※冬

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○				○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-5月に生息するが、一部の山地では6-8月の記録もある。かつては県内各地の広い範囲に生息していたが、開発の時代に田園環境から都市環境に置き変わっていく中で急減した。鉢伏山周辺の高原で繁殖記録がある他は、全て冬鳥として記録されている。1980年の繁殖記録以後、繁殖が確認されていないため、繁殖個体群ランクはExランクへ変更した。

保護上の留意点

河川敷の草刈りや農耕地での除草剤などの使用抑制が重要。また、繁殖期に生息が認められる場所については、繁殖期の人の立ち入り制限などの対策も必要。



写真提供：友田達也 (性別：不明)

156 ノジコ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Emberiza sulphurata

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク: NT

種の概要

日本(主に本州北・中部)でのみ繁殖し、繁殖後は中国南東部から台湾、フィリピン北部などに渡り、越冬する。本州南西部でも局地的に繁殖例がある。夏期は本州北・中部の低山帯の落葉広葉樹林やカラマツの明るい林、灌木のある草原に生息し、地上や枝状に営巣する。春秋の渡りの時期には、平地の河川敷や池沼周辺の疎林やヨシ原などに生息する。



写真提供: 友田達也

(性別: オス)

国内分布

北海道、本州北・中部、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、宝塚市、川西市、三田市、養父市、★丹波市、南あわじ市、宍粟市、加東市、たつの市、稲美町、佐用町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と10月の渡りの時期に生息する。1977年と1978年には氷ノ山やハチ北高原、また、その周辺集落の灌木で繁殖が確認されていたが、その記録以後は確認されていない。

保護上の留意点

繁殖期に本種が生息が確認されている場所では、繁殖場所の保全が重要。春期と秋期の渡りの時期に本種が生息する河川敷や農耕地周辺の草むら、繁みを極力残すことが必要。

157 アオジ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Emberiza personata

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:- 通過個体群:-

環境省ランク:

種の概要

サハリン中・南部、千島列島南部、日本(本州中部以北)などで繁殖し、繁殖後は中国東・南部や日本(本州南西部以南)などに渡る。本州南西部でも局所的に繁殖するところがある。夏期は明るい落葉広葉樹林や林縁部に生息し、林縁の地上や灌木の繁みに営巣する。冬期は山麓から平地に移動し、河川敷の藪や下草のある林に生息する。昆虫類、クモ類や草の実を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★西脇市、★宝塚市、★三木市、★川西市、★小野市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、★たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★播磨町、★市川町、★福崎町、★神河町、★太子町、★上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら・休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○				○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌5月に生息するが、一部の山地では6-8月にも記録がある。また、ハチ北高原で営巣記録があるが、1978年の記録以後、繁殖が確認されていないため、繁殖個体群ランクはExランクに変更した。その他の地域では冬鳥で、県内全域で見ることができる。

保護上の留意点

繁殖期に生息が確認されている場所においては、営巣場所への人の立ち入り制限などの対策が重要。



写真提供：出口敦司 (性別：オス)



写真提供：出口敦司 (性別：メス)

158 クロジ

(スズメ目)

兵庫県ランク: A

Emberiza variabilis

繁殖個体群:A 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

カムチャツカ南部、千島列島、サハリン中・南部、日本北部などで繁殖し、繁殖後は日本南部、中国東部、朝鮮半島、ウスリーなどに渡り、越冬する。日本では主に北海道から本州で繁殖するが、四国でも繁殖するところがある。夏期はササなど林床植物の繁った落葉広葉樹林や針広混交林に生息する。冬には低山や山麓、丘陵の薄暗い森や社寺林に生息する。林床の昆虫類や草木の実などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：北野光良 (性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★西脇市、★宝塚市、★川西市、★三田市、★加西市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、南あわじ市、★淡路市、★宍粟市、加東市、たつの市、★猪名川町、★多可町、★稲美町、★神河町、★香美町、★新温泉町



写真提供：北野光良 (性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら・休息環境・	局地的繁殖	希少
	○				○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクへ変更。
県内では主に10-翌7月に生息するが、一部の山地では繁殖している。氷ノ山と扇ノ山の山頂付近では、営巣記録は少ないものの、繁殖期を通して生息が確認されている。多くは秋冬期に、平地で観察される。近年、シカの食害により営巣場所が激減しており、営巣地の厳重な保全対策が必要のため、Aランクへ変更した。

保護上の留意点

県内の繁殖地は国内でも重要な位置にあるが、高山の急峻な一帯で人為的な影響は考え難い。しかし、本種が越冬期に利用する山地から低地の環境は常緑広葉樹林を中心とした鬱蒼とした森林であり、そのような環境であれば都市緑地にも生息するため、平地にも森林を残すことが重要。